京城日報
廿五日夕刊
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 小川三之介

第卅九回特別帝國議會

▲貴族院

奉答文捧呈

廿五日午前九時開議、諸般の報告を省略して奉答文會議を開き草案を滿場一致可決したる後全院委員長選擧に入る德川議長は奉答文捧呈の爲め議長席を黑田副議長に讓りて參內せるが全院委員長選擧の結果は

投票總數 百九十三票 德川賴倫侯 百九十一票 二條基弘公 二票

にして德川賴倫侯當選し常任委員は各部にて選擧することゝし九時三十分休憩せり（東京特電）

奉答文

貴族院議長臣德川家達誠恐誠惶謹ンテ叡聖文武天皇陛下ニ上奏ス第卅九回帝國議會開會ニ際シ茲ニ盛典ヲ擧ケ優渥ナル勅語ヲ賜フ臣等謹ンテ叡旨ヲ奉體シ愼重審議協贊ノ任ヲ竭シ以テ皇猷ヲ翼贊センコトヲ期ス臣家達恐懼ノ至リニ勝エス謹ンテ奉答ス

支那の形勢

▲李經羲愈々就任

李經羲氏は二十四日午後二時國務總理に就任し尙閣員として陸軍總長に王士珍氏海軍總長に薩鎭冰氏就任せるも其他の各總長は未だ承諾せず又た財政總長は李經羲氏之を兼任する事に決定せり（北京特電）

▲王士珍の就職條件

李經羲氏は王士珍氏の陸軍總長就任に對し左の如き條件を提出したり（上海特電）

（一）在任期間を三箇月とす（二）辭職後王士珍氏に內閣を讓渡す

▲政界又復動搖す

上海の海軍獨立の報到り北京政界は再び動搖を來せり（北京特電）

◉佛獨兩國船舶喪失數

佛國下院にて發表されし所に依れば現時の戰爭の爲め佛國の喪ひし船舶は總噸數五十六萬噸にして其後建造し又は買入れし船舶總噸數六十八萬噸近く竣功す可きは十四萬噸なり之に對し獨逸の喪失噸數は二百五十萬噸にして戰前獨逸の使用せし船舶總噸數の半に相當す（倫敦電報）

支那國務總理に就任したる 李經羲氏

◉東部戰線激戰進展

獨逸公報は東部戰線中スモルゴン、ルツク、西方ブロテウ、ダルノボール、ライオイ、ナラヨウカの諸地方にて激戰進展中なりと報せり（倫敦電報）

◉獨逸食料暴動重大

アムステルダム來電に依れば獨逸に於ける食料暴動は愈々盛にして政府之を壓迫する爲め機關砲を有する軍隊を使用しつゝあり（倫敦電報）

◉拓殖局確定か

拓殖局設置に關する廟議は愈々確定せりと傳へらる（東京電報）

◉特使出發延期

石井特命全權大使一行は七月三日橫濱解纜の春洋丸にて出發渡米の豫定なりしも使船の都合にて出發を延期せり（東京電報）

◉法官大異動期

司法省にては司法官の本年度定期異動を延期し八九月頃[illegible]の際大異動を行ふに決せりと傳へらる（東京電報）

◉吾妻艦歸航期

遣米艦吾妻は七月二日橫須賀港歸着の豫定也（東京電報）

◉志賀釜山局長上京

遞信局會議出席の爲め志賀釜山郵便局長及び稻塚同局技師は二十五日朝出發京城へ向ふ（釜山特電）

◉寺島事務官著任

寺島新任釜山府事務官は二十五日午前五時十分著任せり（釜山特電）

◉連絡船遲著

二十五日朝入港の連絡船さくら丸は途中濃霧の爲め延著し十一時三十五分入港せし爲め午前十時半發列車に郵便物及び乘客を連絡せず（釜山特電）

◉上院理事部長

二十一日午前貴族院理事部長選擧の結果左の如く當選せり（東京特信）

部長 理事
△第一部 寺島誠一郎伯 石黑忠悳男
△第二部 德川慶久公 小松謙次郎氏
△第三部 松岡康毅氏 酒井忠亮子
△第四部 德川義親侯 小澤武雄男
△第五部 二條基弘公 [illegible]家數伯
△第六部 奧平昌恭伯 高木兼寬男
△第七部 正親町實正伯 淺田德則氏
△第八部 平田東助子 [illegible]直之伯
△第九部 細川護立侯 林博太郎伯

◉下院部長理事

衆議院各部にて二十二日互選せし部長及び理事左の如し（東京特信）

部長 理事
△第一部 岡崎邦輔 一宮房次郎
△第二部 天春文衛 [illegible]
△第三部 根本正 秋田清
△第四部 齋藤珪次 堀切善兵衛
△第五部 藏內次郎作 林[illegible]
△第六部 今村勤三 三木武吉
△第七部 戶狩權之助 [illegible]
△第八部 中倉萬次郎 堀川美哉
△第九部 河野廣中 牧山耕藏

◉政府委員任命

第三十九議會開會につき二十二日政府委員左の如く任命ありたり（東京特信）

法制局長官 有松英義
鐵道院總裁 後藤新平
同院副總裁 中村是公
同院理事 森本邦治郎
同院理事 中西清一

政府委員被仰付

外務次官 幣原喜重郎
內務省政務局長 小幡酉吉
同省通商局長 中村巍
總領事 藤田敏郎
關東都督府民政長官 白仁武
同府事務官 蟻山長次郎

外務省所管事務政府委員被仰付

內務次官法學博士 水野錬太郎
內務省神社局長 塚本清治
同省地方局長 渡邊勝三郎
同省警保局長 永田秀次郎
同省土木局長 小橋一太
同省衞生局長 中川望
同省參事官 山縣治郎
朝鮮總督府參事官 鈴木穆
同府參事官法學博士 秋山雅之介
同府事務官 河內山樂三
臺灣總督府民政長官 下村宏
同府財務局長 中川友次郎
北海道廳長官 俵孫一
樺太廳長官 昌谷彰

內務省所管事務政府委員被仰付

大藏次官 市來乙彥
同省主計局長 西野元
同省主稅局長 松本重威
同省理財局長 神野勝之助
同省銀行局長 森俊六郎
大藏書記官 吉川良矩
同 勝正憲
同 河田烈
同 關場偵次
專賣局長官 嘉納德三郎

大藏省所管事務政府委員被仰付

陸軍次官 山田隆一
陸軍主計總監 隈德三
陸軍中將 淺川敏靖
陸軍一等主計正 鶴淵仙助

陸軍省所管事務政府委員被仰付

海軍次官 鈴木貫太郎
海軍主計總監 志佐勝
同 主計大監 久野工

海軍省所管事務政府委員被仰付

司法次官法學博士 鈴木喜三郎
司法省法務局長法學博士 豐島直通
同省監獄局長 谷田三郎
同省參事官 山內確三郎
司法書記官 近藤三郎

司法省所管事務政府委員被仰付

文部次官 田所美治
同省普通學務局長 松浦鎭次郎
同省實業學務局長 赤司鷹一郎
同省宗敎局長 柴田駒三郎
文部書記官 山崎達之輔

文部省所管事務政府委員被仰付

農商務次官 上山滿之進
同省農務局長 道家齊
同省商工局長 岡實
同省山林局長 岡本英太郎
同省鑛山局長 崎川才四郎
農商務省水產局長 鶴見左吉雄
農商務書記官 鈴木英雄
製鐵所長官 押川則吉
同所理事 吉川雄輔
特許局長 村上隆吉

農商務省所管事務政府委員被仰付

遞信次官 內田嘉吉
同省通信局長 中川健藏
同省電氣局長 棟居喜九馬
同省管船局長 若宮貞夫
遞信書記官 中西四郎
[illegible]局長 肥後八次

遞信省所管事務政府委員被仰付

◉地久節御祝電

二十五日は地久節當日なるより山縣政務總監は同日午前謹むで佳節を祝し奉る旨波多野宮內大臣を經て電奏する所ありたり

◉遞信局の會議

遞信局にては主要郵便局長、海事出張所長、營業郵便局技師の三會議を二十六日より來月五日迄開會する事に決定第一日は諸事務の打合せに留め二十七日より本會議に移るべく午前は郵便局長會議午後は海事出張所並に技師の會議を開くべし尙ほ會場には持地長官岡本島田矢野佐々木伊藤遠藤各課長以下課係官列席すべし

◉憲兵隊主計移動

二十三日附を以て朝鮮憲兵隊附主計に左の移動ありたり

軍馬補充部荻野支部附二等主計 武者彌三郎 朝鮮駐箚憲兵隊附を命ず
朝鮮駐箚憲兵隊附二等主計 菅時助 軍馬補充部荻野支部附を命ず
名古屋衞戍病院附二等主計 池田儀一 朝鮮駐箚憲兵隊附を命ず
朝鮮駐箚憲兵隊附二等主計 近藤正鉎 步兵第六聯隊附を命ず
同上二等主計 伊香善五郎 步兵第八十聯隊附を命ず
宇都宮衞戍病院附二等主計 栗原伊之助 朝鮮駐箚憲兵隊附を命ず

◉畜產物產額

牛皮、牛骨、牛脂、牛乳、豚毛、豚脂、膠等の生產高並に其の價額總督府調査に依る大正五年中の鮮內畜產物產狀況左の如し

▲牛皮 乾皮數量六百九十四萬五千三百七十二斤、價額四百三十四萬三千七百十六圓にして其の內改良乾皮は數量二百九十三萬二千九百十八斤、價額二百二萬八千六百三十三圓、在來乾皮は數量四百一萬五千八十三圓なり、乾皮の生產高最も多きは京畿道にして總產額の約二割七分を占め其他の道は何れも一割以下にて咸鏡北道の約二分を最少とす又た改良乾皮の最も著しく普及せるは全羅北道にして牛皮產額の約九割二分を占め、京畿道、慶尙南道、忠淸南道に於ては約四割二分の多きに上る、而して改良乾皮百斤の價格は全土の平均六十圓七十錢に比し約二割方高價なり

▲牛骨 利用せられたる牛骨の數量七百九萬七千七百五十二斤、價額十五萬四千三百十九圓なり、主として骨粉製造用及び細工用として內地に移出せらるゝも近時京城東大門外に於ても骨粉製造用として消費せらるゝに至れり、牛骨見込生產高に對する各道の利用高は京畿道約七割四分にして最多く忠淸北道平安北道平安南道、慶尙南道之れに次ぎ四割九分乃至五割六分、江原道及び咸鏡北道の約一割一分を最少とし全土に於ては約四割二分となる、價格は地方に依り著しき差あるも全土の平均百斤二圓二十錢なり

▲牛乳 數量二千九百五石三斗價額十五萬五百三十二圓なり、各道主要都會地に產するも京城及び釜山最も多し價格は各地大同小異にして一升平均四十五錢乃至七十錢、全土の平均五十二錢なり

▲豚毛 利用せられたる豚毛の數量十七萬四千六百五斤價額二萬五千二百十八圓なり大部分は原毛の儘支那に仕向けらるゝものにして內地移出及び朝鮮內需要は僅少なり豚毛見込生產高に對する利用高は支那輸出上好適の地位に在る平安南道平安北道最多にして七八割に上り全土に於ては約四割七分となり價格は地方に依り差あるも南部地方のもの割合に不廉なり之れ畢竟精選の上內地に向けらるゝに依る、全土の平均百斤十四圓四十錢なり

▲豚脂 數量三十九萬八千九百十九斤價額九萬一千三百三十九圓にして忠淸北道を除き各道に產するも平安北道最も多くして總產額の約四割を占め南鮮地方は少し、價格は概して北部產のもの南鮮產のものより不廉にて全土の平均百斤廿二圓八十錢也

▲膠 數量一萬四千五百斤、價額一千二百二十五圓にして京畿道京城平安南道平壤及び咸鏡南道北靑に於て生產せらる

◉露國鐵道の運賃引上

乘客は二倍貨物は三倍に

露國の各鐵道は留の下落甚しく加ふるに貨物の夥しき輻輳と輸送力の不足は滯貨の狀勢を益々誘致し乘客亦甚だ多きため露曆六月十日乃ち日本曆六月二十三日より一齊に乘客賃金十割手荷物賃金十五割貨物賃金二十割の突飛なる引上を實行せし旨浦鹽より或る確かなる筋へ入電あり但し東淸鐵道ウスリー鐵道は同日より値上を行はず目下連絡輸送等の關係上他鐵道に交涉を費やしつゝあるものゝ如きが多分遠からず前記の割合にて其の引上げを斷行するなるべし爲めに露國の輸出品相場は若干下落の傾きありと

◉李王家御祝詞

李太王、李王殿下、李王妃、李堈公妃、故李熹公妃各殿下は二十五日朝總督に對し謹で地久節を祝し奉る旨の傳奏方申出られたるより山縣政務總監は直ちに電報を以て宮相宛其の執奏方を乞へり

◉李王殿下御迎

李王職事務官黑崎美智雄氏は李堈公家御使として李王殿下の御歸還を御迎へ申上ぐべく二十五日附釜山に出張を命ぜられたり、氏は二十六日出發す可し

◉持地長官下仁

遞信局長官持地六三郎氏は伊藤海事課長北野技師以下を隨へ二十五日午前八時五十三分南大門驛發列車にて仁川に下り仁川郵便局海事出張所弘濟丸月尾島燈臺等を視察し夕刻歸京せり

◉白水軍參謀長動靜

步兵第四十旅團檢閱狀況視察のため目下南鮮地方に出張中の駐箚軍參謀長白水少將は二十七日大邱出發釜山に至り秋山軍司令官に代り李王殿下を同地に奉迎し大邱迄奉送し再び同地の檢閱狀況を視察し三十日歸任の豫定なり

◉軍經理部長巡視

駐箚軍經理部長廣瀨主計監は石井川北兩主

◉芳賀博士東上

芳賀總督府醫院長は慈惠醫院其他に關する要務を帶び三週間の豫定にて二十五日朝南大門發列車にて東上せり

◉國澤副總裁

鮮滿兩鐵の併業に關する要件を帶び來京中の國澤滿鐵副總裁は久保庶務課長を隨へ二十五日午後九時四十分南大門驛發列車にて出發大連に歸任す可し

◉鮮銀總裁歸京延引

美濃部鮮銀總裁は秘書役同伴二十三日東京出發二十五日歸京の筈なりしも急用出來に付其の出發を延引する事となりたる旨銀行に通電あり但し月內に著京すべき豫定なりと

◉李完用伯南行

李完用伯は李王殿下御出迎の爲め二十五日午前八時三十分南大門驛發列車にて南下せるが途中沃川に立寄るべし

◉三島理事著洛

宿痾發生のため京都に向へる三島鮮銀理事は無事二十四日夜京都に入れる旨某所に入電ありたりと

◉服部事務官元山行

滿洲鐵道部事務官服部氏は京城の視察を了し二十四日元山へ向け出發せり二十五日歸京の筈

◉鳥取縣視察團

入京中の鳥取縣視察團は船便の都合上來る二十九日元山に出で海路城津を經て淸津に赴き來月七八日頃迄に再び入京滿洲に向ふ由なるが北鮮各港にては港灣狀況を視察し對北鮮關係の詳密なる狀況を視察すべしと

◉朝郵重役會

朝鮮郵船會社にては二十三日樓上に重役會を開會し原田社長吉田專務外取締役參集し社務に就て協議をなしたり

◉朝郵店長協議

朝鮮郵船會社にては運賃整理並に其他事務上の打合せをなすため二十五日より約三日間石垣釜山石川元山各店長並に木浦出張員を召集し諸種の協議を行ひつゝあり

◉露貨漸騰

百圓對二百廿留となる

底知らずの狀態にて下落せし留は去る十九日百圓對二百三十五留の下位を現はしたるも二十二日二百三十留に跳返りしが勞働者兵士委員會に對する露國臨時政府の非單獨講和聲明並に留下落防止の手段は相當の効果を呈し二十五日又十留方騰貴し二百二十留となれり倫敦紐育に於ける市場の氣配も若干强氣を呈しつゝありと

仁川

▲持地遞信局長官 持地遞信局長官は二十五日午前十時伊藤海事課長及び花野技師を隨行として來仁海事出張所弘濟丸、月尾島無線電信局郵便局等を視察同日午後歸仁したり

▲鳥取縣視察團 財部內務部長、松井理事官、岩崎縣會議長及び有力者を以つて組織せる鳥取縣視察團は二十五日午前七時來仁府廳商業會議所築港等を視察の上鳥取縣人會の招待にて謹賓の饗應を受け午後京城に向け出發したり

▲英語講習 基督敎青年會にては英語講習を中止し居たりしが本週火曜より毎週火木の二日宛開始する事となりたり

▲中川警部進任 今回平昌警察署長に轉任を命ぜられたる中川警部は廿五日午後零時四十五分紐峴發任地に向け出發せり

淸州

▲圍棊大會盛會 淸州支局主催の淸州圍棊大會は二十三四の兩日に亙り本町三丁目總島屋に於て擧行したるが參加會員約六十名に達し本賞品外各商店寄附の副賞品積んで山をなす如くにて頗る盛況を極めたり

▲東拓出張所長來淸 安井東拓江景出張所長は淸州地方に貸金放資に關する調査の爲め廿三日來淸本年明治館に投じ當地重なる實業家と會見し放資に關する打合せをなし諸種の調査を行ひ二十四日出發したり

▲阿部事務官來淸 阿部遞海總督府事務官は今回來鮮を機とし地方勸業狀況視察の爲め二十四日來淸の上忠北道理財主任縣山道書記の案內にて忠州黃色葉煙草狀況視察に向ひたり

人事消息

▲高津鎌太郎氏（福岡鐵業株式會社員）▲高木要吉氏（同上）▲宮內源太郎氏（同上）二十四日夜入京山本旅館へ
▲星野準一郎氏（久原鑛業會社員）同天眞樓へ
▲原鐵三郎氏（紙商）同上
▲八木成馬氏（平壤郵便局長）二十五日夜入京三本旅館へ投宿の筈
▲小湖元司氏（鎭南浦久原出張所長）二十六日朝入京同上
▲探木源太郎氏（東京探木合資會社經營者）二十五日入京浦尾へ
▲指宿武吉氏（忠南道技師）二十五日朝退京

社告

今回毎日申報記者李光洙を派遣して各地方を遍歷せしめ有志を訪問し新政の普及發達の情勢を察し經濟産業敎育交通の發達人情風俗の狀況を觀察し併せて隱れたる名所舊蹟を探り名賢逸士の遺蹟を尋ね之を天下に紹介することゝ相成候處此擧の成功と否とは全く官憲並に地方有志の御援助如何に依ることと存候に付我社の此擧に御同情あり諸般の便宜を與へられんことを切望致し候先づ不取敢紙上を以て御依賴迄如斯に御座候 敬具

京城日報社
毎日申報社

□彌が上にも御健やかに 皇后陛下第三十三回御誕辰祝典

◇陛下の御丹精に成る宮城紅葉山御養蠶所の本年の成績極めてよく凡そ十七石程の收穫と承はる◇

二十五日は我が皇后陛下の第三十三回目御誕辰に當るを以て宮城大奥にかせられては御恒例に依りそれ〴〵御祝典を行はせ給ふべきなるが爰に最も芽出度くおはすことは我皇室の御繁榮と共に 聖上皇后兩陛下が彌が上にも御健やかに渡らせらるゝことにぞある今謹んで皇后の宮の御丹精に成れる御養蠶並に陛下御勉勵一端を漏れ承はるまゝに記し奉らんに 皇后陛下の御丹精に成る宮城紅葉山の御養蠶所の本蠶は其の成績極めてよく凡そ十七石程の收獲なりとぞ承はる、同願し奉れば陛下の

◇御養蠶を◇ 始め給ひしは去る明治四十一年の春青山御所內北の御殿と申し奉る御殿內に御養蠶所を設けられ御躬ら養はせられたるが御始めにて爾來今日まで滿十年が間年々歲々殖きは五石五六斗より多きは十六七石の收獲を得させ給ひ而して

◇其の蠶糸◇ をば織物と爲し給ひて陛下御躬ら御衣を製らせらるゝものもあり又各皇族妃殿下方に賜はるを通例となし給へり陛下御養蠶を始め給へるより今年は十年目に相當するを以て過去十年間に於ける繭の產額助手の人員其の人員の府縣別など事細かなる統計表を作製して一日に

◇十年間の◇ 御養蠶の顚末を知らしむると同時に內地の外朝鮮臺灣等に至るまで其の桑園反別繭の產額絹絲の收穫を調査せしめ統計表を作製して御養蠶所內に備へ奉仕者の便覽に供し給へり又御養蠶十年記念には御養蠶所の絹絲にて織なせる羽二重を以て御常紗

◇三百以上◇ も作らせられ御養蠶に因める御模樣を染出したるを御養蠶所關係者一同に下賜せらるゝ由承はるも御仁慈の程畏き極みとこそ申すべけれ、又御養蠶に御熱心なる陛下には御養蠶に關する古事來歷をば早くより御調べ給ひけん當年は所謂蠶の神大宜都比賣命並に若產巢神の二柱を祭神となし給ひ去る

◇五月二日◇ 即ち擧式當日莊嚴なる御祭典を行はせられ陛下を始め奉り各關係員一同拜禮を爲して熱心に奉仕したる結果にや其の成績却々に良好にて前記の如く上乘の繭、實に十七石程も收穫するに至れり玆に於て廿六日か或は廿七日頃此の二柱神に對し謝恩祭を御執行あらせらるゝと洩れ承はる

◆淳宮雍仁親王殿下 第十六回御誕辰

廿五日は第二皇子淳宮雍仁親王殿下第十六回御誕辰に付殿下には午前十一時三十分中央幼年學校御出門皇子御殿に御歸還正午祝ひの御膳に着かせられ午後二時參內地久節御祝ひを言上あらせられ同四時御歸宮遊ばされたり(東京特電)

◉御大典の盛儀を偲び給ふ 李王殿下二條離宮並に京都御所に成らせらる

李王殿下廿四日の御消息は前報の如くし今更に之を詳報せんに廿四日は早朝御目醒朝食の膳に向はれ

◘近侍と御談笑の裡に御食事を召されたるが軈て長谷川總督、伊藤式部次長等參候御機嫌を伺へり殿下は午前十時陸軍大將の軍服を召し関長官以下を隨へられ自動車にて御旅館御出門、二條離宮に向はれ車窓より

◘京都市中の風光を御覽せられつゝ離宮の正門より進み二の丸御車寄に御到着日野西主殿寮出張所長の御出迎へを受けられ上段の間より稚松の間、芙蓉の間を御覽、御大典の節大饗宴場に充てられしことなど說明を聽召し庭苑の雅趣を賞でられつゝ御退出、夫より

◘京都御所に向はれ清涼殿にて四季屏風を配したる壁の御座を拜し更に紫宸殿に進みて御大典の盛儀を偲び給ひ諸殿御覽輪奐の美を御賞覽の上御退出學院に向はる泳涙として流るゝ高野川兀然として

◘聳ゆる比叡の嶺を御覽せられつゝ離宮に御到着、客殿庭苑を賞で正午御歸還遊ばされたるが更に午後より東本願寺に赴かれ兩堂に御參詣相成りたり李王殿下には御豫定なるが御見送りの李王世子殿下は二十四日久邇臨時祭主宮殿下を御訪問、二十五日午前八時發御歸東の筈

◆美はしき內地の山水 富嶽に對して殊の外御感深し 李王殿下京都御出發

李王殿下は二十五日京都御出發に就き李王世子と二十四日夜約一時間御對談あり名殘を惜み給ひしが二十五日朝は早くより起き出でられ午前七時自動車にて京都驛に向はる沿道奉送者は

◘御著の時と同じく盛にて驛前に儀仗兵整列し殿下には劉喨たる喇叭に迎へられ御著驛あり斯くて同七時十分文武高官奉送裡に御發車宮島に向はせられたり、隨行の女官の一人は語りて曰く『內地に參りて以來御待遇の御手厚きと風景の佳なるとは一同の等しく喜べる所なり皇室を始め奉り官民一同の歡待は殿下始め奉り一同の者衷心感謝に堪へず、又途中汽車通過の際

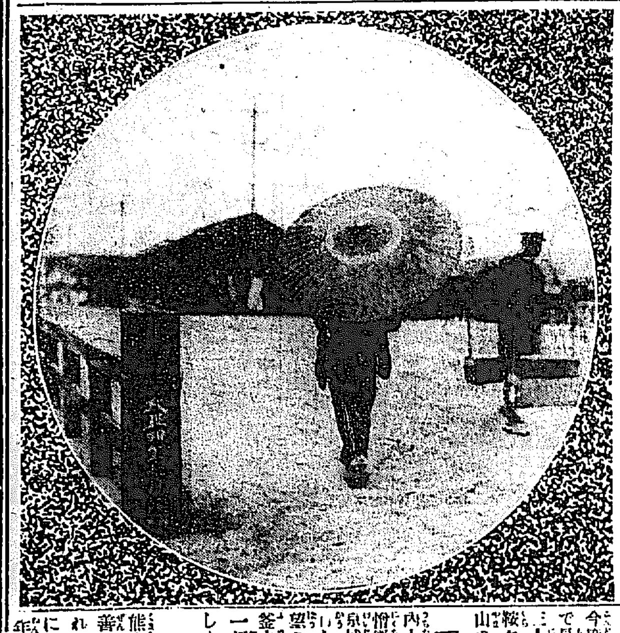
◘田植或は茶摘の人々迄も手拭を除り帽子を脫ぎて敬意を表する樣を眺め、殿下にもいたく御滿足の御樣なりき天皇陛下の御盛德は今更申す迄も無き事ながら今回御拜謁の榮を辱うし愈々其御恩厚きに感じ入りたり。又は旅行中何等の不便をも感ぜず却て日本內地の山水一般に美しく樹木枝を交へて繁り田畑は肥沃にして之れを朝鮮の荒地禿山の多きに比し非常の差あるを感せり富士山の秀麗比ひなき容姿同さも形容の言葉を思ひ出されず殿下にも殊の外御感深き樣伺へり(京都にて中谷特派員發電)

◆李王殿下 大阪御通過

李王殿下には二十五日朝七時五十分大阪驛御著、宇都宮師團長、村岡提理、大久保府知事、池上市長以下官民多數の奉迎に對し殿下には車內に御起立、其々鄭重なる御會釋を賜ひ同五十五分御機嫌麗はしく御西下遊ばされたり(大阪特電)

◆李王世子殿下

李王世子殿下には李王殿下御見送りの後午前九時京都發御東上相成たり(京都特電)



◆慈雨――廿五日朝舟橋にて――

◉黄金の雨 天候は恢復か

▽萬物草木一切蘇つた

雨、雨、雨、降つても降つても尚ほ足らないでゐた此の頃の雨、それが二十四日の夕景からボツ〳〵降り始めて夜更けるにつれて多くなり二十五日の朝まで一晩中降り續いた、宇宙の萬物草木一切蘇生の思ひがしただらう、此の雨は二十四日に北支那に現はれた

◆深い低氣壓 が徐々と北東に進んで今朝滿洲の北部に來りその中心示度が七百四十六粍に下降したゝめに朝鮮から南滿洲一帶にかけて西風が吹き黃海方面の水蒸汽を散逸させて更にそれが朝鮮の中央山脈に衝突した結果朝鮮滿洲一帶の比較的廣い區域に降雨を見たわけで

◆その降雨量 は京城が一番多く十三粍、仁川九粍、平壤七粍、龍岩浦六粍、城津五粍、釜山四粍でその外多少に拘はらず各地共降つてゐる、漢江上流には京城より多く降つてゐる所が多い、而して低氣壓の中心が廿五日正午になつて日本海に去つたので各地共降り止み京城では十一時四十分に至つて一時歇んだが前夜以來の降雨は合計卅粍一坪當り

◆五斗四升で あるが、之れとても例年同月の平均降雨量に比べると漸く三分の一强に當るに過ぎないから今月中には尚も少し降るであらうと思はれる、尚ほ又今後の天候は低氣壓の位置が遠ざかつたので名殘の雨が多少降るにしても二十六日からは天候は恢復する、但し氣壓の配置上快晴を見るか何うかは疑問である(京城測候所員談)

太刀山一行の 有望力士

▽稽古熱心な鞍ケ嶽 ▽何して力士になつたか

今度來る太刀山伊勢濱一行百餘名中で最も有望力士と目されてゐるのが三人ある、それは太刀光、火打洋、鞍ケ嶽で何れも友綱部屋に屬し太刀山の

▽秘藏弟子で ある、此の內太刀光に火打洋は揃ひも揃つて生憎徴兵檢査のため東京に殘つてゐるが京城興行の廿八九日頃までには急行して來る事になつてゐる、就中囑望されてゐる鞍ケ嶽楯右衛門は已に釜山以來熱心に稽古を續けてゐる、一行中の最有望力士としての彼を少しく紹介しよう、出身は

▽斯道の本場 と言はれる熊本市新町一丁目上田萬太郎の長男萬三郎といひ明治三十一年十一月生れの本年取つて二十歲で力士の仲間に入つたのは大正二年の十一月滿四年足らずである、力士になつた動機は十二歲の時、常陸山一行が熊本に興行の時市長を通じて角力道に入るやうに勸めたがその父が

有望力士鞍ケ嶽 太刀山の秘藏弟子

▽角力嫌ひの ために話が纏らず越ゑて大正三年十一月十七歲の時太刀山鳳一行が廻つて行つた際の太刀山がその偉大な體格を見て懇望し爲めて已まず同地の奬角會及び同人の通ふ學校の校長から勸めた結果親も漸く承知して太刀山の新弟子になつた、そして翌年一行と共に布哇に渡つて始めて角力道の面白さを知り

▽稽古に熱中 する、內元來身體がある事とてグン〳〵と發達して此頃では體量二十七貫五百、身長五尺六寸となつた、然して尚十分發育の見込さへある程である。押しが得意で寄り、投げも可なり出足も早く若い割に角力も上手だ、今は本場所番附の三段目

▽二十一枚目 にゐるが、此の夏場所に全勝したので春場所には幕下に入るかも知れない、體格風貌に於て已に立派な幕內力士の品位を備へて居り病氣さへしなければ一二年中には十兩を突破して幕內に入るは無論の事三役に進むのも餘り遠い事では無からうと思はれるそれに

▽人物が温厚 で相當學問があるし、頭が働らく方であり肥滿してゐても骨格がよく肉が固まつてゐるから途中で止まるやうな事はない、大錦、九州山程の確かな角力である、之れから暢びやうとする者を他から無暗にワイ〳〵持ち上げるのは却つて贔負の引倒しに終る虞れがあつて

▽本人のため にいゝ事とは思はぬが、その天賦の力量を發揮させるために常に監視奬勵を怠らずその前途の成功を祈つてやりたいものだと思ふ

◉僞名の女

香川縣綾歌郡大川村都崎モト(三七)は巨文島料理店仁戶田繁一方にて酌婦奉公中窃盜を働き二箇月以前より光州監獄に服役中刑期滿ちて放還されたるが同人は都崎モトと云ふは僞名にて合田ケンが本名なる上餘罪ある見込みにて又も搜索中なりと

◉赤痢發生

京城和泉町……後午後……花々しく群山……

◉連絡船遲著と內地便

(太刀風)小鼠(友渡り)矢筈山(四國洋)筑後川

◉連絡船上陸客

二十四日午……

課題募集規定

天氣 小雨後曇り

愛讀者優待

東京相撲 木戸割引券

本券御持參の方に對し一名限四十錢木戸を卅錢に割引致候

京城日報社

群山興行中

商況

深川在米特電

東京公債直取引

東京期米特電

大阪期米特電

下關期米特電

雜報

◉綿布安綿糸跳返

高綿布現物

綿糸現物

棉糸現物 四十錢安

二圓高

五圓乃至六七圓方跳返せり

◉防穀令と粟

◉鑛力亞鉛板低落

◉洋釘引戻す

◉山東輸出の糠

◉機械油昂騰

定期船復舊の筈

稀有の暴騰

京城正米

京城雜穀

雨相場も期待程の影響

買人一齊に安唱へ

仁川期米

二十五日前場 雨安後跳返す

小雨の入電に……大阪天候……

仁川米豆取引所仲買人 森仲買店

仁川米豆取引所

二十五日の八月限

田中金兵衛

仁川米豆取引所仲買人 今村寬次郎

南大門の廻穀

釜山穀物

生魚市場

仁川米豆取引所仲買人 大五仲買店

市場零聞

▲大變動下押す

▲降雨下押す

神賣に……招致……雨待の降雨に投……力筋の買狙……降雨と大旱魃の際……尚植付を完全……

日何れも赤痢と診斷されたり

●群山の大相撲 東京大相撲太刀山の一行は二十四日大田打上げ

ため延著したるため同日午前十時釜山發の急行に接續せざりしを以て午後九時南大門驛著內地各方面よりの郵便物は不著二十六日朝著の分と同

露國逃亡兵

持て餘された

米國より浦鹽を經て哈爾賓に護送せらる

過般露國逃亡兵一千餘名は米國より浦港に護送され露官憲は政府の命を受け當分彼等を沿海州各所に配置することに決したる處彼等は地方駐屯の軍隊に

▲暴動思想を 鼓吹して危險甚しきを以て最近更に彼等を哈爾賓に回送せり彼等逃兵の著哈するや市民の恐慌を起せるを以て執行部は之を本國に回送する事に議決し其內四百名を發送せし處本國政府より彼等の歸國を中止す可き電命到著し該四百名は目下滿洲里に滯留せるが哈埠に殘留せる

▲六百餘名は 日に市中を橫行して軍隊其他兵器廠職工等に暴動行爲を煽動し或は無辜の婦女を銃殺する等の非行を敢てするも制禦する者なく露國政府は彼等の歸國が一層の紛亂を惹起す可きを顧慮して其送回を拒絕する譯にて哈爾賓官憲も之れを持て餘し居れり（哈爾賓）

端午の節句

滿山の一時に開きたる如く見えて

廿三日は陰曆五月五日即ち端午の節句に相當し平壤に於ては年中行事の一として然も年內の大休日で此日こそは婦人も自由に外出を許され如何に深窓の家に育つた令孃も此日ばかりは思ふ存分遊ばれるのであるされば二十三日は午前九時頃より辨當携帶で平壤神社及び關帝廟の山上山麓に押掛けたる婦人五千餘名

▼滿山恰も百花 の姸を競へるが如く殊に紅紫青白の薄絹著けたる婦人の鞦韆に乘りて空中高く飛べる樣さながら霓裳羽衣の舞を爲せるものゝ如くに見ゆ又一說には此端午の節句が婚姻の見合を爲すものにて鞦韆に能く乘り能く飛ぶものは身體强健にして將來一家の主婦たるに適すとの好評を得て

▼婚約速に纏る との話あるも果して然るや否やは知らざれども當日の盛觀は例年のことなれども殊に平壤名物の一と云つてよからう倘當日は平壤神社、接內から關帝廟の山麓山下に天幕を張りて氷水ビールサイダー菓子果物玩具品店等百以上の出店あり甚しき雜沓を極めたるも幸にして警察事故もなかつた（平壤）

海水浴場設備

早く出來て欲しいと市民の希望

月尾島に海水浴場を設備すべく豫ねて計畫されたる事は其當時報道したる處なるが其後計畫者側に於て業務繁多の爲め豫定の準備をなす能はざりしも盛夏も已に間近になりたるを以て仁川有志者中には一日も早く落場の實現を期待し居り旁々府廳に於ても之れが準備として設計書を作製し府尹より有力者に向け何等かの協議をなす由なるが此際一氣呵成に設備をなし一は市民の絕好の游泳場となし一は避暑客の誘引策とせば仁川の繁榮に益する處多かる可し（仁川）

京日愛讀者の特權

東京大相撲全鮮各地巡業中

東京大相撲太刀山、伊勢ケ濱一行の全鮮巡業團來鮮に付我社は例に依りて一行の景氣を添ふる爲め京城日報愛讀者各位との間に立ちて種々興味と利便とを兼ねた問題を提供致す事となりました。我社は既に巡業先乘年寄熊ケ谷と協定し大相撲の朝鮮巡業地

釜山 馬山 大邱 金泉 大田
群山 京城 仁川 平壤 新義州

の各所に於て興行中其期間通用の

京城日報 讀者木戶大割引

券を其都度本紙に刷り込み切拔使用せらるゝ樣にして提供致します即ち木戶錢は三十錢の定額を本紙刷込みの割引券持參の方に限り二十錢で入場が出來るのです更に京城興行中は本社、地方巡業中は各地の重なる支局にて

幕內お好み相撲 飛付五人拔

など好角愛讀者諸君の爲め特に出さしむる事とし角道の興隆上大々的氣勢を添ゆる筈になつて居ります

貉の子八頭

平安南道德川郡豐德面及び城陽面地方に於ては客月來ヌクテの出沒頻々にして被害尠からず同地方の鮮人等これが捕獲に注意中即ち五月下旬八頭のヌクテの子現はれたれば豐德面民等集りて六頭を生捕り五月三十一日の夕方更に牝一頭を撲殺し六月三日牡一頭を捕獲したれば此程德川憲兵分隊より賞與方警務部に上申せり

劇の砂

●又も華嚴病● 日光華嚴の瀧と言へば日本三景所の一つだと言はれてゐるが又も去る十八日夜靜岡市安西川町宮川某（三三）と東京吉原娼妓田中きす（二五）とが投身情死をした

●秀才揃ひの一家● 東京麻布區長坂町子爵勅選議員吉安綱氏一家は秀才揃ひで嗣子綱郎氏（三九）は近く陸軍たるべく次男稔郎氏は海軍大尉、三男吉郎氏は農學士、四男雄郎氏は本年法科大學を卒業すべく五男捷一氏は文科大學在學中、六男武郎氏は學習院を終へて理科大學に入學するさうだ

●賊は中學教員● 山形縣南村山郡十山町生れ元中學校教員曾我部純一（四一）は新潟、若松地方で教員の家、學校、商店の宅から窃盜を働いてゐたのを二十一日柳河原で捕まつた

●十年間脫營● 島根縣能義郡赤江村三島理之助（三二）は十年前松江聯隊に入營中脫走して門司、上海、橫濱、市岐等で惡事を働いたりして千圓許りを貯蓄し僞名して居た所を去る十五日大阪で捕まつた

●娘は支那婦人● 長崎縣西彼杵郡時津村森熊太郎（五七）の娘さく（二四）は八年前誘拐されて釜山其他で度々支那人に轉賣され此程遼陽で支那人の妾になつてゐるを熊太郎が聞き込んで遙々行つて逢つて見れば耳輪迄嵌めて支那婦人に成り濟ましてゐるので驚いて逃げ歸つた

●夫婦狐の情死● 山口縣玖珂郡高水山林に此程牝牡の夫婦狐が並んで餓死してゐるのを村人が發見したが不思議にも松の根の狹い間に頭を突つ込んで絕命して居つたといふ

東京相撲宿割

目下群山興行中なる太刀山一行の京城乘込時間は二十七日午後七時二十分と決定したるが京城興行中の關取格各力士の宿割及び初日の取組は左の如し

△天眞樓 取締友綱 木村庄之助 △巴城館 太刀山 △滿光館 伊勢の濱、土州山、紅葉川、若島 △原金 檢査役員二所ケ關、湍潮川、荒玉、年寄若藤 △佐伯旅館 黑瀨川、國見崎 △荒井旅館 敷島、矢筈山 △九州旅館 行司大藏、庄五郎、玉治郎 △都旅館 年寄谷川、京磯、太刀嵐 △日の丸旅館 年寄柏山、鳴戶、太刀山、組合理事猪谷、若者頭太刀の音

△京城初日取組

龍ケ瀧 平戶崎 曾根松 太刀海
遠州洋 筑後川 太刀光 友の山
友渡 太刀風 敷島 國見崎
四國洋 紅葉川 荒玉 土州山
黑瀨川 清瀨川 太刀山
矢筈山 伊勢濱 若島

沖釣曳網投網

仁川灣內に漸く盛になつて來た

仁川港內には鯛や鯖鰹などが漁れ始めたので昨今沖釣が盛んになつた、其場所は小月尾島沖永宗島北部等であるが日曜每に京城方面から出掛けて來る者仁川からは沖の曳網の見物に舟を出す者等が多い、投網には江華島に遠征を試みるもあり、萬石洞より半安方面の入江に添ふて鯔鯛を目的に夜の投網に出掛る者もある（仁川）

平壤地方の降雨

二十四日午前十一時三十分より晚刻まで降雨あり農民愁眉を開けり但降雨は〇、七耗にして極めて少量なりし爲失望し居れり平壤測候所の報ずるところに依れば當分如此天候を持續すべしと（平壤）

南浦觀察團來壤

毎日申報平南支局主催鎭南浦實業觀察團員五十四名は豫報の如く二十三日午前十時四十二分著列車にて來壤し平壤商業會議所評議員及び新聞記者等の出迎を受け一同腕車に乘りて步兵第七十七聯隊に赴き兵營を參觀し其れより道廳府廳を訪問し更に中學校物產陳列場等を參觀し午後一時より光亭に於ける平壤官民有志の招待會に臨めり一行一同著席するや大橋商業會議所會頭の歡迎辭並に開會の主旨を述べ觀察團長林新敦氏一同を代表して謝辭を述べて乾盃し本田府尹は歡迎の辭として興味ある一場の談話を爲し其れより卓上の折詰辨當を開きビールサイダに腹を洗ひ大同江一帶の飽ぬ風景を眺めて歡談暢語し午後二時再び人力車に乘りて女子高等普通學校及び高等普通學校染織學校を視察し牡丹臺に逍き浮碧樓下より鵠舫に乘り舟遊を試み大同門前に上陸して大成館に入れり同夜は大成館に於ける毎日申報支局の招待會に臨めり二十四日は午前十時より內田百花園の茶話會に臨み午前十一時より蠶業講習所農學校種苗場等を參觀し午後四時歸南する由なり（平壤）

●南浦の大相撲 太刀山一行の大相撲は愈々七月五日六日兩日間鎭南浦稅關空地に於て華々敷興行することに決定せり

●ハリス博士歡迎會 メソヂスト教會東洋監督ハリス博士の來鮮を機とし工藤平南長官は二十二日長官舍に於て同博士を主賓としてウエリツチ監督ノーブル、バンガー、ビリンス其他平壤在住の外國人二十餘名を陪賓とせる歡迎會を開催せるが開宴に先だち工藤長官は一場の挨拶を述べハリス博士の謝辭ありて後宴に移り歡談暢語頗る盛なりしと云ふ

仁川の藝術座

仁川歌舞伎座に於て開演すべき藝術座一行のお芝居は二十五日午後六時より開幕京城に於ける連日大入なりし丈けに市中の人氣湧き居たるを以て滿員の盛況を呈す可し

●仁川のシビリゼーション シビリゼーションは愈々廿五日より三日間瓢館に於て開演する事となりたり

演藝雜記帳

二十四日の晚黃金館に開演中の松旭齋天一一行の奇術を覗いて見た▲京城には天勝が三四度來た事があり、いつもケレンではあるが目新らしいものを持て來たために成功を收めてゐた、今度の天一も天勝と同じく一方は以前その妻一方は實子で藝の方では同一系統を引いてゐるのであるが、いろいろの事情から兩人は今まで別の道を步いて來たし、今でも全然離反してゐるが然かも兩人共數度歐米の本舞臺を踏んで斯界の大立物となつてゐるのである▲天一の京城興行は今度が初めてであり又一座の中心となつてゐる同人が男であるといふ理由のために京城では天勝程に興味を以て迎へなかつたが▲さて開けて見ると一座には若い綺麗な女も居り露西亞人支那人などの異國人がザラにゐて種々風變りな藝當をするのと、その並べ方が賑かで數が多いために實際のところ天勝の座よりも見應へがあるといふ事が確かに言へる▲カードを扱ふ天一の手先きの藝も鮮かだが、鐵箱の秘密、籠拔などは手際がいゝ、その外自轉車曲乘の諸藝に巧いのや露西亞少年の曲藝、露西亞美人のダンスなど見るべきものが多く少女達の小奇術も綺麗にやる▲それに露西亞人達が矢鱈に騷やぐのも馬鹿々々しいやうで面白い、要するに世間の人氣に於いては天勝の方が上らしいが內容は天一の方が十分であると斷言する

●給仕採集 京城覆審法院にては十三歲以上の給仕一名採用する由希望者は至急同法院庶務係まで申し出でらるべし但し學歷は尋常小學校卒業のこと

ともしび

▲高木背水畫伯が平壤牡丹臺の雄觀を大きな額に描きあげて東京驛と京都驛の構內に揭げるといふ事は既に御紹介したが▲之は本田平壤府尹の計畫で廣く江山の雄を天下に紹介する思ひつき▲內地でさへもこんな廣告を試みたものは未だ曾てないのであるがさりとは非常な奮發である▲背水畫伯は驛の構內周圍との調和が大切だといふので近々自ら畫を携へて內地へ赴くとのこと▲額は六尺に四尺の大作でこれに額緣をつけたら大きなものになるだらうと

演藝案內

京城壽町 壽座 電話七五八番
▲大阪大歌舞伎澤村源之丞一行 六月廿二日より廿八日迄日延なし
廿六日（五日目）藝題
前 小田原紀文實記
切 天下一品 大好評の義經千本櫻 道行より御殿まで
▲特等九十錢△一等七十錢△二等五十錢△三等二十錢

櫻井町 大正館 電話八七三
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
▽六月廿五日より特別封切 ○舊劇『浪花の俠客龍神吉』（全三卷）尾上松之助 ○『デブ君の奮闘』（全二卷）

京城壽町 壽館 電話一〇五〇三
六月二十日より向五日間 竹本彌島太夫歡迎師匠淨瑠璃會

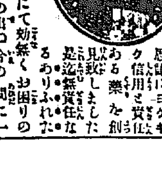
有樂館 電話（局上）四九七番（局下）二〇五番
早川演藝部直營 米國ユニヴアーサル會社特約
米國ユニヴアーサル會社特作 ●世界的連續寫眞第五『紫の覆面』（第九編第十編）
●人情活劇『無言の價値』

黃金館 電話二六三七 六五二
大松也活動寫眞株式會社京城釜山一手代理店
▲魔術大博士松旭齋天一總員六十餘名
▲世界的大魔術師松旭齋天一は渡米研究の光榮に浴し第三回渡米
▲最も鮮かなる妙技を演す

京城本町 糸岐商店 電話三七〇 振替京七一

一千反限りの
縮セル 正金代用 金指輪進呈
東京流行縮セルが一反只の一圓九十五錢で買ることは染料や原糸の高き今日嘘のやうだが現に過去五年間吳服類の格別安賣で評判を取た東京日本橋區本石町壹丁目吳服問屋關谷商店が自慢の縮セルを前記の馬鹿値で投賣りしつゝあるが日々羽根が生へて飛ぶ大賣行柄合も地質も一見高價の舶來セルに負ぬ程の上等品でタツタ一圓九十五錢特別上製二圓五十錢と云ふ一風變つた大勉强買ぬ者は損なりけり且大賣出しの記念として先天的十八金色を有する金色燦たる不思議金指輪を一反の注文每に一個宛の無代進呈をなす由因に地方の希望者は同店宛ハガキにて男女別年齡を記し申込は柄合親切に選び代金引替送料も實費で送るとの事

わきがは人から きらわれる
●音尾博士の創見
夏のアセが出る時日り今が早く治療る
藥學界に名聲ある陸軍一等藥劑官音尾博士先生は男女わきがの人へ氣の毒に思ひ數年間苦心研究の結果今回殺も進歩したる「チゼン液」と云不思議にヨク利く效能確實の藥を創見致しました



一寸素人ダマシの賣藥にて効能なく御困りの人も彼是と迷はずアセの出ぬ今の間に一日も早く此化學的藥物新療法にて全治の嬉しき御身となられよ喜びの禮狀益々着すへガキで申込めば直に說明書無代進呈す
東京府下淀橋町柏木百七拾番地 東京博愛藥院

土藏あり保管安全
まちや
勸業貯蓄債券高價買入
明治町二丁目八十七番地 支那領事館前通
南質店

期 曾我商店 米

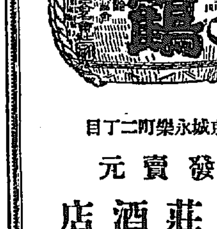
祝觀火大會之成功
京城舟橋町百五十番地
手藝教育 智惠の泉發行所
野本玉堂

代理店募集
毎月抽籤 勸業債券 月額金五十圓
拾圓券拾通組賣 三年拂
毎月金四圓宛六ケ月拂込每に一通つゝ賣約債券の內渡を爲す
六十三回貳千圓付八月抽籤金拾壹圓八拾錢 拾ケ月拂
帝國公債勸業大券額面壹百圓 毎月金貳圓六拾五錢 三年拂
●詳細規定書御呈上す郵便切手三錢要す
大阪東區谷町武天満橋南詰 振替口座大阪三五九九六番
關西信託月報社

宮內省御用達
三ツ矢 サイダー
平野水
コローナ
帝國鑛泉株式會社

內科 小兒科（入院隨意）
京城櫻井町（電二一七一番）
池上醫院

祝觀火大會成功
朝鮮公論社
日本電報通信社
京城太平町 電話一七〇番

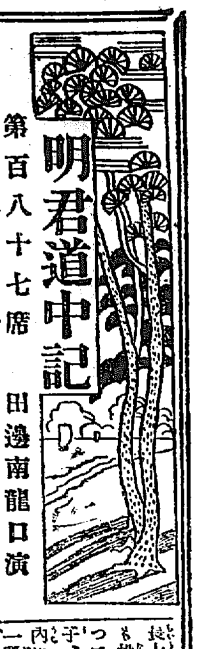
優等清酒

京城永樂町二丁目
發賣元
本莊酒店
電話六五四番 振替京城二六〇番

代理店設置廣告
極めて面白く極めて御樂み極めて御便利なる貯金法日露協商記念式日本勸業銀行債券月賦販賣業務擴張の爲左記の場所に代理店設置致し候間弊店同樣御愛顧御引立願上候
東京日本橋（電車交叉點際）大塚藤作商店
日本勸業銀行債券取扱店
京城黃金町一ノ一五七
大塚藤作商店朝鮮代理店

▲男女店員採用
東京大塚商店朝鮮代理店

在庫豐富 迅速確實
◎英國サミールオスボン製鋼會社關東代理店 ◎英國アーサーバルフオーア製鋼會社特約店
東京市神田區東紺屋町一番地
井口鋼鐵商店
電話神田四〇九、六九七番 振替口座東京二四三八一番
歐米鋼鐵、獨國產鋼各種

汽車



明君道中記
第百八十七席　田邊南龍口演

熱田明神の境内の角力小屋へ長七郎宇平次宅兵衛等を伴れて見物にお出なさる、角力は田舎廻りのことで飛入り勝手次第といふのでございますから一層面白うございます、追々取進んで盛り勝もあり負けるもあり又は引分け勝負無し、三番勝つと褒美が取れるといふ處で我も俺もと角力好きの者は土俵へ上つて角力まする處へ一人の侍が其處へ出て盛り衣類を脱で素裸體と相成り土俵へヒラリと上つたが　侍『アイヤ行司拙者が一番取るから相手を出せ　行『宜しうございます』一人の角力取を其處へ出したから侍はさア來イと仕切を取つて突立上つたかと思ふと相手の角力を手もなく其處へ打仆し、又出る者を投仆し見る〳〵内に四五人を投仆して彼の侍は大口開いて打笑い　侍『イヤ何れもこれもたわいの無い奴ばかり、最早此方の相手をする者は無いか』と土俵の上で大手を振つて威張つて居る、最前から是を御覧なすつた長七郎　長『イヤ彼の侍は大分強いな、今は出る者が無いと見ねる、何うじや學傳彼處へ出て一ッ取つて見ないか　學『宜しうございます愚僧が一番取つて彼奴を投げて遣りませう』と學傳は棧敷より下りて參り　學『オイ〳〵行司俺が一番取るから先方へ然う云ふてくれ　行『イヤ御出家貴下がお取りなさるので　學『如何にも　行『飛入り勝手と云ふのだから何誰でも宜しいが然し御出家の身分で角力をお取んなすつては　學『決して大事ない、早く取らしてくれ』此の事を相手の侍に云ふと、彼の侍は　侍『何でも宜いから拙者の相手をするといふなら早く出せ』と土俵の只中に四股踏んで待構へて居る、心得たりと學傳は同じく土俵へ躍り上り双方とも後へ退つて身構へたかと思ふ間にエイと一聲立上つて爭つたが、學傳は何に諸口才なと飛込んで來る奴を兩手を以て胸を突いたから彼の侍はヨロ〳〵と蹌踉けて土俵際まで退つた處を學傳飛込んで三ツを掴んで　學『エイ、ヤツ』と一聲叫だかと見る間に彼の侍を目よりも高く差上た、大勢の見物は是を見て〇『ヤア強い坊さんだ彼の侍を差上てしまつた早く投げろと口々に云つて居りまする學傳は彼の侍を差上げたが投げることが出來ません、顏は眞赤になつてブル〳〵慄出した、と云ふのは何うした譯だと云ふに、此の侍は體術者と見ね前へ投げれば胸を蹴られる、後へ投げれば脊骨を折られる横に投げれば脾腹を蹴られるから、學傳も武藝者のこと故、それが判るかして投げることが出來ない只差上げたなりで居りますから見物は慾いて何うしたものだらうと思つて居る、桟敷の上で見てお在なさる長七郎　長『コレ宇平次宅兵衛、學傳も投げれば其の身に怪我があると思つてか差上げたなりで困つて居る樣子、何うなるか見て居れ』暫くする内に學傳は是までと思つたかエイと一聲前なる方へ投付けると、果して彼の侍投げられながら左足を以て學傳の胸を蹴上げて其の身は向上へ突立つた、投げた學傳は土俵際までダヂ〳〵と退つて來て尻餅を搗いたから行司は軍配を彼の侍の方へ上げました、學傳這々の體で棧敷へ逃上つて參りまする、長七郎は　長『學傳遣られたな　學『イヤ酷い目に遭ひました　長『コリヤ宅兵衛　宅『ハツ　長『彼は體術者と見ゆるから其方出て體術を比べて見よ　宅『仰せにござれば及ばずながら拙者罷出で一番力比べをいたして見ませう、と三宅宅兵衛は素より起倒流の達人であるから、衣類を脱いで素裸體となり廻しを締めて土俵の上に現はれました、

入院隨意　胃腸病院　京城南大門通二丁目七番地（漢湖農工銀行前）　院主　佐々木杏造　電話一六五九番

徳用口付煙草　香王　京城本町吉尾商店　電二四八四番

雨天の御用意は　みの　かさ　卸小賣　京城龍山漢江通八　金川商會　電話六四八番

六月二十六日　火　舊五月九日庚子　本命九紫南破先勝

▲九紫●身方の敵となること有る日　注意新事見合西方は吉　暗劍南▲一白●不缺の事有る日　新事手控ふ事は吉女子は行儀を守らるべし▲二黒●凡事順達の日轉居入學金件名弘求職探嫁娶縁談　入乘萬吉▲三碧●榮世の日轉居入學修行吉　女子の傲慢を慎し立身を爲す大いに振ふべきの日也▲四緑●都合上々の日轉居旅行入門名弘金談求職造船嫁娶取替吉▲五黄●運開盛日轉居求職探鐵建築金談名弘嫁娶試驗等　爭る事無吉▲六白●一寸困まる事有る日　新事手控事は吉又爭を防がるべし▲七赤●心機不穩の事有る日新事手控事は吉又散財を防がるべし▲八白●世樂の日轉居行商金談求職家作嫁娶入學萬吉

新荷著　スヰツル製　懷中時計　アングル機械

（ニッケル側）十八形（片蓋）二圓五十錢
同　十六形　同　[illegible]
同　ラヂューム目盛付十六形　[illegible]
（鐵側）ラヂューム入十八形（片蓋）[illegible]
色付彫刻各色　美十二形（婦人持片蓋）七圓
金張（十年保險）十八形（片蓋）[illegible]
（金側）同　十七形九金　[illegible]
三百八十圓　十八金　自
行腕巻時計　十二形ニッケル　ラヂューム入　[illegible]
有は今回新着の商品にて本商會獨り之を有し店には無き所の伏して御注文に對しては代金引換小包郵便にて御送附申上候
時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒各國貨直輸入商
イングレツシー商會　本店　京城本町二丁目　電話九七二番

長壽の妙品は「ヨーグルト」　京城若草町　荒井牛乳販賣部　電話一〇〇四番　荒井の牛乳　滋養と健康の母は

贊化病院　京城本町二丁目　電話二四一番　内科　小兒科　入院隨意　毎日五名を限り無料施療す　醫學博士　古城憲治　醫學士　上野亮藏

易　周介石堂　明治町二丁目　岡村介石

恩給年金　五ケ年　分利秘密低金貸　共　取扱希望方は特約す　名古屋市西區江中町二丁目　渡邊雜貨化粧品店

懸賞答案募集

問題
（一）ゴルフの重なる効能三つ
（二）ゴルフの瓶の底にはどんな印があるか
（三）此廣告を御覽になつた新聞名

答案心得
●右三問題は郵便はがきに認めて東京室町三丁目泰昌製藥株式會社廣告部宛て御郵送の事
●正解者三百名以上の時は新聞社員立會の上抽籤を以て當選者を決定す
●一等より四等迄の當選者は新聞紙上にて發表す
●〆切八月十日

賞品
一等　上等懷中時計　一個ヅヽ　三名
二等　上等置時計　一個ヅヽ　五名
三等　上等財布　一個ヅヽ　二十名
四等　サン、エス萬年筆　一本ヅヽ　三十名
五等　色白くなるピンセリンクリーム　一個ヅヽ　二百五十名

平生胃の惡い人　腦を使ふ人　身體虚弱の人は……迷わずに……スグ　胃病に一番よくきく　胃腸ゴルフを常用せよ

定價　金貳拾錢　金四拾錢　金壹圓　全國藥店にあり
よくきく唯一の證據は毎日到る禮狀で判る
一日の藥價タツタ貳錢
同　神經衰弱藥　アドラ　エクレス　色白くなる　ピンセリンクリーム
本舗　東京室町　泰昌製藥株式會社　電話本局五一七九　振替口座東京二七五七七番

産科婦人科專門　中央婦人病院　京城明治町二丁目（元漢城病院下、舊龍川時大正醫院跡）　手術室病室各等完備　院長　衣笠　電話三二四〇番

金露　攝津灘　大塚釀造所吟製　賣元　京城本町二丁目　前田酒店　電話一三七番　振替口座四二五番

內科　胃腸病　診察夜九時迄　京城本町一丁目　石川醫院　電話一二七九番

京城　朝鮮銀行
當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
電話　振替貯金口座京城三三三番
支店　東京、大阪、神戸、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春、開原、四平街、吉林、哈爾賓、營口、傅家甸、龍井村
出張所
右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

▼甚しき臭味を忍びて、肝油を飲用すべき時代は去れり▲
▼咀嚼して美味無臭、容易に定量の肝油を食用し得べき▲
河合龜太郎氏創製
◎肝油ドロップス

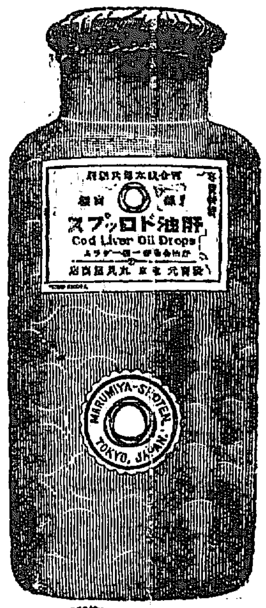
◎肝油ドロップス　肝油含量一顆一瓦にして麥芽糖及可溶性含窒素物を以て成る滋養强壯料なり。
◎複方肝油ドロップス　肝油の含量を半減して、有機鐵・有機燐及び石灰・規那等を含有せしむ。

肝油含量一顆一グラム　一日二回乃至三回服用

五歳以下	一回一顆又は二顆	一日二顆乃至四顆
十歳以下	一回二顆又は三顆	一日四顆乃至六顆
十五歳以下	一回二顆又は四顆	一日六顆乃至八顆
大人	一回三顆又は五顆	一日八顆乃至十五顆

用法　普通菓子の如く食すべし又鋏なぞを以て細片に切り冷水或は微温湯にて嚥下にするも妨げなし
定價　五十顆入一壜金七十錢　百二十顆入一壜金一圓四十錢　復方百顆入一壜金一圓四十錢　内地以外は關税運賃を加ふ

本邦及英米國政府專賣特許　滋養强壯料



肝油が一般の虚弱者、羸痩者、結核性素質者、營養不良に起因する眼病患者、腺病質の兒童等に對し、治療上缺くべからざる滋養劑として、内科、眼科、小兒科等の專家に處方せられ、卓効を奏するは、醫療上の定論なり。然れども其特有の臭味、甚だしく不快なるが故に、其服用を嫌忌せらるゝを慨し、河合氏多年苦心研究の結果形狀洋菓ドロップスに似て、麥芽糖及び可溶性の含窒素物を基礎とし、一顆毎に精製純良の肝油一瓦宛を正確に含有し、乳化完全にして、分布極めて細密、美味無臭にして而かも容易に食用し得べき「肝油ドロップス」を創製す、本品は從來の肝油諸製品に優り、服用に煩雜なる手數、携帯の不便、變敗の迅速なる等の缺點なく、殆んど本質の肝油たる事を忘れ、兒童は勿論何人も好んで食用し得ると、酷暑の候と雖も冬季と異る事なく、消化吸收の作用頗る良好なる事とは、本品の最も優秀なる特色とする所なり。

(Patented in Japan, Great Britain and U.S.A.)
MITSUWA COD-LIVER OIL DROPS.
MITSUWA COD-LIVER OIL DROPS. 120 Drops in a bottle ¥1.40
MITSUWA COMPOUND COD-LIVER OIL DROPS. 100 Drops in a bottle ¥1.40
Mitsuwa Cod-Liver Oil Drops are round-candy drops of small size, fragrant and pleasant to the taste. Each contains a guaranteed amount of one gram of Cod-Liver Oil. In its nourishing quality, taken without taxing the stomach, and in so small a size, the Mitsuwa Cod-Liver Oil Drops far surpass any other cod-liver oil preparations on the market.
Mitsuwa Compound Cod-Liver Oil Drops differ in that they contain one-half amount of Cod-Liver Oil and are supplemented with the effective element of iron, phosphorus, lime and quina.

▼如斯人は滋養料◎肝油ドロップスを用ふべし▲
一、顏の色が蒼白くて艶無き人
一、皮膚の紋理が惡くザラ〳〵してゐる所謂あれ性の人
一、身體一般に貧血してゐる人
一、是といふ病氣はなくても何と無く弱く感冒に罹り易い人
一、筋肉の目立て痩せてゐる人
一、手足が冷て寢られぬといふやうな纎弱い人
一、色が蒼くて肉痩せ、而して筋骨ならぬ所謂腺病的の小兒
一、頸が細長く、頰が痩け、咽喉や喉の弱い人
一、飯より多く用ゐる所謂結核素質のある人
一、筋肉を太らせ、無病壯健に、元氣よく活潑せんとする人
一、身體一般に脂肪氣の少き人
一、顏や手先きを滑こくし度い人
一、産前産後病後の發育を計らうとする人
一、骨の故障即ち佝僂病骨軟弁其他種々の骨病ある人
一、營養不良から來れる眼病例へば夜盲症や細眼貧血に罹れる人
一、腺病（瘰癧）に罹れる小兒
一、右の外種々の病に罹つてゐる人の滋養物として理想の良食物である

▼賣捌＝全國到る處の藥舖。洋酒食料品店。化粧品店。小間物店▲
ミツワ石鹸　ミツワ椿油　ミツワ家庭藥　規那鐵葡萄酒　肝油ドロップス
發賣元　東京市日本橋區橘町四丁目　藥舖・滋養品・石鹸・香粧品・小間物問屋
發賣商號　丸見屋商店　電信略號〇ミヤ　振替貯金口座東京七一〇番　營業部電話特長浪花三〇、四四八、四四九、四五〇番

京城日報 第三版

六月廿六日
(夕刊と合せて八頁)

本紙定價 一部金三錢 一ケ月金五十五錢 … 廣告料 …
發行兼編輯人 奧田直毅 印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合名會社 京城日報社

朝鮮の教科書(六)

編輯課長 小田省吾

一 普通學校教科用圖書(其六)

七、例話の選擇に付ては編纂上最も苦心せし所のものなり[illegible]內地人[illegible]事蹟[illegible]を以て[illegible]し難きもの[illegible]蹟の著明なるものは官吏學者[illegible]に多くして一般人に少なく、又之れありとするも、圓滿なる模範人物として取に足るもの極めて稀なり由て各道に照會して洽く地方模範人物の事蹟を調査し更に精選して呂東賢の妻(忠淸南道石城の人)姜好善(黃海道谷山の人)鄭民赫(全羅南道萬頃の人)の事蹟を採用することゝし、而して外國人に關するものは一切之を採らず、又例話には多く格言或は訓辭を添へて敎[illegible]旨を指摘せり。

[illegible]以て記述し國語を[illegible]を本體となすものな[illegible]文章は[illegible]之れ國語との聯絡上大に注意したる所にして、隨て生徒用卷一の如きは其の過半を繪畫のみとし、敎授上如何に之を說明すべきかは之を說明すべきかは之を敎師用書に示すことゝせり。

本書敎師用の組織は特に意を用ひたる所にして、先各課敎授の目的を揭げ、次に生徒用に對し適切に敎授要領を記述し、尙ほ參考備考を設けて趣旨の貫徹を計れり。抑修身敎授の內容は之を能く生徒に理解せしむるにあらざれば何等効なき者なれば國語力猶乏しき初學年生徒に向て敎授する場合、又は多くの私立學校に於て朝鮮人敎師が之を敎授する場合等に在りては國語にては或は徹底せざる所あらんを恐れ、敎師用書には國語の本文と對照して朝鮮譯文を附記し已を得ざる場合には便宜朝鮮語を用ひ、以て充分理解を得しめんことに力めたり。

九、本書生徒用敎師用の外、別に修身掛圖を製して敎授の便を圖るは、國定小學修身掛圖と異なる所なきも、國定小學修身掛圖は第二學年用迄なるに比し、本府の普通學校修身掛圖は第三學年用第四學年用をも編製して一層敎授に便ならしめたり。

一〇、以上列記の外挿畫(修身掛圖亦同じ)に於て朝鮮兒童の風俗を散髮草鞋となし、勞働者の中に女子を交へ、雨中に農夫の働く有樣を揭げ等皆言外に敎訓を含めたるもの少からず。

一一、普通學校の修業年限は朝鮮敎育令第九條に依り三年又は四年となし得る規定にして、女子に對しては現に多く三年制を採用するを以て本敎科書は卷三までにても一通り國民性養成に必要なる德目を敎授し了り、修身敎授を完結する樣敎材を排列せり。

一二、作法は本書の內容と相待ちて各學校に於て適宜之を授け、朝鮮の作法中必要なるものは亦土地の狀況に應じ之を授くることゝし其の作法の形式に關しては別に調査して之に依らしむ。

支那商工業の變遷(卅)

今關天彭

一七、明代の商業(其二)

明の太祖は商政に注意して、頗る整理したものがあつた。故に洪武時代は、商人や、自由を得て、貿易上の精神もまたや活潑を見た。然して太祖の商業に關する施設は、和雇•和買を禁じ、物價を平均にし、權•量等を調査したのが重なるものである(一)和買とは宋に起つたもので、期に先つて人民に錢を給し、夏秋に至つて收穫を官に納めさせる、また豫買とも云つた。元にも和雇の名が見ゆるが、大抵、和雇と和買は、畢竟同質のものであつて、その弊害は、官より價額を給せずして、人民に物を納めさせるにある。そこで太祖は之を禁止した。(二)物價を平均にするとは、民間に於ける物價は、州縣の役人が每月實地について調査したものを上司に報告する。軍需等のものは、文書を以て報告した物價に比較して買上げる。また各府州縣にては、每月初旬に諸物を調査して貴くしたり、賤くしたりするを許さず、上司の買上げには、時價を調査して價額を給與し、役人をして、その間にあつて弊事をさせぬやうにした。その(三)鈔•權を調査するときは在京兵馬司に市司を兼管させ、三日に一度づゝ市內の鈔と秤と仲買人の姓名とを調査させ、地方廳にあつては、城門兵馬といふ役人に、市司を兼管させ、如上の事をなさせた。

また洪武の時、宮中の調度を買ひ上げるには、時價に比べて準ね十錢高とした。宮內官吏の地方に出て調度を買ひ上るのは、この時から始まつた。その後宮內官吏の地方にあるものが、諸商人を虐げて種々の惡事を行つたので、度々呼びかへして誅戮したのであつたが、その弊事は明末に至るまで絕いた。

明の海上貿易は、市舶司を三ケ所に置き、寧波は日本、泉州は琉球、廣州は占城即ち今の安南、暹羅及び西洋諸國に通じた。たゞ中葉以前にあつては、その對西洋關係は少しで、對日本關係は頗ぶる多かつた。それは倭寇を提れた爲めで、洪武の時已に甚だしい防備を講じたのであつたその時に定めた日本との貿易の制度は、十年に一度の貿易を以て期限とし、人數は二百人、舶數は二艘に限り、貿易の時には、必ず勘合符を使用することゝした。この外多少注意すべくものは、沿邊の馬市である。馬市は永樂年間、開原(奉天奉天府開原縣)廣寧(奉天錦州府廣寧縣)に開いたが、いく程もなくして開原の城東及び廣寧の二市を止め正統間に至つて大同(山西大同府大同縣)に馬市を開いたが、その爲めに土木(地名)の變を惹起した。土木の變とは中官王振が蒙古也先の馬價を定めたので、也先が入寇し、英宗が親征して、土木(直隸宣化府土木堡)に至つて大敗し、爲めに虜にせられたのである。後に宣府(直隸宣化府宣化縣)の馬市を增したが、蒙古を羈縻する方法が拙であつたのでこれより邊境が日々に亂れた。

隣邦を奈何…對支國策を確立せよ

中島生

關稅引上問題

支那關稅引上問題の起つて居ると云ふ事を、支那旅行中揚子江畔に來て知つた。漢口でも日本人有力者と會つた時、何れは日本の紡績業者が、反對を唱へるであらうが、此問題は日本の當業者が、絕對に反對を唱へ得る性質のものであるや否や等について、談じ合つた事である。歸り來れば、日本內地は恰かも總選擧の間際で、政界の空氣も餘程緊張して居たが、支那關稅引上問題も却々反對の氣勢が昂まつて居る際であつた。大阪では關稅引上反對關西聯合大會なるものが開かれて、紡績業者の一大示威運動が行はれ、折も折總選擧の瀨戶際とて、代議士候補者の面々が、反對委員の前に喚び出されて、支那關稅引上に對する贊否の回答を强要されると云ふ始末であつた。

彼等紡績業者の反對理由なるものは、支那の關稅引上は我邦の產業、就中紡績業の興廢に關し、延いて我が一般經濟界に至大の影響を及ぼすべき重要問題なるを以て、極力之に反對すると云ふ絕對反對の意味と、又此種の關稅改正を世界的經濟組織の最も紊亂せる戰時に於て忍容すると云ふことは、甚だ當を得ざるものとする、時機の關係から相對的に反對するの意味とがあつた。而して殊に假輸出品を目して此を以て「我が輸出貿易の萎靡不振を招致し、我が商工業を窮地に陷らしめ、商工立國の國是を根柢より覆へすもの」となすに至りては頗る悲痛の悲痛なるを感せざるを得なかつた。

支那の關稅引上と云ふ事が、我が紡績業の利害に影響するは勿論であらう。日本の綿絲全產額高四分の一は支那に輸出せられるが故に、關稅が高くなれば、夫れ丈け利益を殺がれる事は當り前である。乍併之を以て日本の商工業を窮地に陷れ、商工立國の國是を顚覆すると云ふが如きは、誇張に失し過ぎて、批評の限りでない。支那は日本の支那では無い。支那が實際關稅引上の必要を感じて、之を列國に諮り、列國之を承認するの前に若し單り我日本が支那に對する經濟上の優越權を振り廻して、極力之に反對せんとせば、如何なる方法を以て之を貫徹せんとするか。今日支那が關稅引上問題を提起するの時期であるや否やは、別問題である

愼重に日本の蒙むるべき不利益如何を研究した上に、商議の餘地あらば充分支那と商議する所あるべしと雖も、徒らに熱狂的に示威的に、騷ぎを大にして騷ぎ廻るが如きは、只々支那人の反感を買うばかりで、關稅の引上げなさよりは、更に一層の不利益を、それこそ我が一般經濟界は蒙むるに至るであらう。歐洲戰爭以來印度の關稅引上あり、米國の關稅引上あり、歐洲諸國の重要品輸入禁止あり、隨分日本の貿易には不利益を及ぼす事が頻々と生じたのであるが未だ支那の關稅引上問題に對する如く、反對の聲の喧囂にして、態度の無遠慮なるを見ないのである。日本紡績業者中、最も有力なる一人なる鐘紡の專務武藤山治氏の如き人ですら、支那の關稅引上げは、支那の工業を保護し發達せしめる結果、日本國內の工業の發達を妨げる事になると、平氣で言つて居る。支那だつて、獨立の國である以上は、或は自國內に工業を興すに至らうではないか。又それを他國が不可ないと云つて止める事も出來なからうではないか。支那が工業を興し得れば、與してよいではないか。日本は其間に活動の新生面を開き得ない筈はなからう。餘計な心配を云つて其の土塗りを爲さないがよい。關稅問題などは、何も騷ぎ立てる事は無い。況んや紡績屋が默の野次馬の尻に乘つて關稅問題に騷ぎ立てるなどは、甚だ心得違ひである。それだから紡績屋は我利々々根性だと云はれるのだ。

日報詩壇

朝鮮風俗雜吟 大久保晚香

老樹

老樹懸懸綵帶細。俗崇道是鬼神憑。[illegible]哭何用求於外。求福妖巫在內房。

犬豚

田家多飼犬還豚。婦喚一聲求何奔。何用畏兒加襁褓。喚汚舐穢不留痕。

尿甕

倫情放風手攜攜。誰能留意拂塵埃。恬然泄尿鄰邦裏。掬甕房中溲便來。

評曰、朝鮮風俗雜吟三十五首、皆是事實寫錄、「不河千里設、問何諷刺、確非游戲之作、若見詞藻之典雅、使人駭倒。

日報歌壇

聚 明

國境火の歌

河畔の稲村木に腰かけて烟火眺むる夏夜なりけり(淡江に行きてうたへる)

ただひとり烟火を見んと河岸の暗がり深く立てばさびしも

さはやかに夜とはなりて空たかく烟火あがれりこの大江に

闇しきこの大江の夜の空あがる烟火のしきりにあはれ

くら闇にあがる烟火のいろ／＼に嘆きされてかなしこの戀

たまゆらに烟火は消ねて夏の夜の夜天の闇はいよゝ深しも

大江の烟火終りて夜ふかし岸に濡れたるわが浴衣かな

第三版 ▲大阪期米 ▲仁川期米 二〇、七〇 二〇、八九 二〇、七〇 二〇、八九 二一、七五

▲保合小變動 [illegible] 小變動を繰返して散會 ざる入電に十九圓五十五錢と寄付たるが頭上の … 同店の買 …

▲天候次第 [illegible]

▲現物界 [illegible] 十錢同神力十七圓五十錢 … 三千八九百俵出來たり … 居るも騰貴に至らざるとの事

廿五日 八月限 六月限 七月限 八月限 百五十石 六萬八百五十石 十九圓五十六錢

家庭雜誌

娘は斯う所へ嫁けたい
△何處までも本人本位の家庭へ……
△嫁入りの娘を持つて……
泣き面を蜂が螫すは何故か…安田善次郎
△秘密に映ひさるい家庭……
△休日は如何に暮したら宜いか……
工夫した買物の仕方…三角錫子
△私の童話「仁王様のお相撲」
△通信簿を見て我子の病氣を癒す……
母としての婦人の力…
月見草(社交小說) 手塚かね子
夕潮(家庭小說) 長田幹彥
二萬人の赤兒を扱つた產婆…吉澤とめ子
△遊戲の爲め美粧師となつた私…山下君子
△梅雨期に注意すべき婦人の病氣…笠間たけ子
世帶の持ち方…(社會百生活の收支研究)礒野吉雄
△家庭の副業を發達させたい…秋山糸乃子
△婦人職業手引草(ミシン縫)
手輕に出來る家庭の絞染…奥村榮 色技師
家庭の祝日(懸賞募集記事十項の內)
△子供達の誕生日 △良人の卒業日と就職日 △店開きした記念として
△結婚日と祝日に △受洗と家庭の祝日 △學校中心の祝日
七月號 定價十二錢 郵稅一錢 東京 博文館

嫁入文庫 第六編 編物刺繡の卷

一條の糸一枚の針 精妙巧緻の日用品となり絢爛優美の美術品となる手藝は是れ婦人の天職

定價壹圓 送料八錢

東京京橋區南紺屋町二十番地 實業之日本社 振替口座東京三二六番

悉く各編賜台覽

◇嫁入文庫總書目◇

育兒の卷	加藤照麿 醫學博士	六版
裁縫の卷	喜多見さき子 高師教授	六版
禮法の卷	下田歌子 實踐女學校長	四版
料理の卷	赤堀峰吉 同菊子 兩先生	四版
洗濯染色の卷	山下榮藏 女子職業講師	三版
編物刺繡の卷	吉田さく 相川たけ 先生	新刊
化粧の卷	古宇田醫學士 水島幸子	未刊
娛樂の卷	齋藤鹿山先生	未刊
生花の卷	齋藤鹿山先生	未刊
女中使方の卷	加藤常子 男爵夫人	未刊
婦人衛生の卷	相馬又二郎 醫學博士	未刊
家政の卷	鳩山春子 同薰子 先生	未刊

本年十二月を以て全部完結 定價各冊壹圓 送料各冊八錢 四六判總布美本。金函入、十二冊 但し直接本社に御注文の方に限り金前金十二冊を十拾圓に割引し、送料を本社負擔す。

戶籍上の改姓改名が自由に出來る

素人にできる 氏名變更簡易手續法

貴族院議長 島田三郎閣下題字 ●法學士 辯護士 添田增男先生閱 定價金八十五錢 郵送料金八錢 好評十版出來

本書は改名に關する法規を集め、其手續、願屆書式並に文案、實例等を擧げたれば何人にも理解し其應用方法を知らば德川性を乃木性に、家康名を太郎こ自由に市町村役場への手續にて變更し得る秘訣方法を詳述しあれば改姓改名復氏名字訂正希望者は迅に一本を購へ。尙本書の眞價は公平なる各紙の批評を見よ

各新聞の批評 「大阪每日」は由來其手續の煩瑣と困難とを以て目せらるゝ氏名變更手續が簡易になし得らる方法を改姓、改名の二章に分ち一々關係法規と實例を列擧詳解何人にも分るゝと云へ「報知」は改名改性に關する事柄が何人にも了解し得らるゝ樣記載し又手續の實例を詳細に揭げ「時事」は素人にも解るやうに法規を解釋し之に實際手續を添へたれば適應自在」と許す

大日本戶籍法研究會發行
發賣元 東京市神田區錦町一丁目十九番地 振替東京六二九四番・電本四二〇八 誠文堂
▲注文は振替利用あれ代金引替は二十九錢居宅引替廿四錢又は居宅市定あれ

法人登記公告

利川地方金融組合監事缺員ノ處大正六年六月九日左記ノ者監事ニ就任ス
京畿道利川郡邑內面倉前里 趙鍾台
同道同郡同面官廳里 李濟哲
同道同郡 加面西垌里 李定儀
右大正六年六月廿日登記ス
京城地方法院利川出張所

定款第十五條ニ依リ來ル七月一日ヨリ總會終了迄株式名義書換ヲ停止ス
大正六年六月 株式會社 百三十銀行

定款第拾五條ニ依リ大正六年七月壹日ヨリ總會終了ノ日迄株式名義書換ヲ停止ス
大正六年七月壹日 朝鮮製棉株式會社

日本婚禮式大全

●菊版二百餘頁密圖挿入好評七版發行 ●特價金四十五錢送料六錢郵劵一割增
婚姻の起原沿革・婚姻と法律の關係・媒人の心得・見合の心得・婚姻席上の女子の式法 … 人の家庭にも一本を備へよ
東京神田岩本町十五 振替東京二五九八一 芳林堂書房

寶

大口歡迎 京城黃金町長橋町入 電話二九一六番 田村寶店 商品擔保便利取扱

京日案內

▲申込後中途解約の節は同金返戻せず ▲六回以上の御申込は特に延割引 ▲御問合は返信料に非ざれば答せず ▲御照會の節は必ず數字の番號御記入あれ

普通
◎看護婦三名見習數名募集す志望者は履歷書携帶本人來談あれ 仁川 佐藤病院 186
有給男女社員募集希望者は午前中來談あれ 京城本町二丁目八六 シンガミシン裁縫會社本町分店 183
▲安全第一 信用絕大 萬年筆販賣と修繕 ウツボヤ書店 京城本町 124

番外
店員 九六名 年齡十八九歲より二十五六歲迄 至急入用 但し確實なる保證人を要す 仁川新町 津田兄弟屋 187
有給外務員募集 鮮日 履歷書携帶面談の事 日本生命保險會社開城代理店 188
◎礦物定量分析 太平町二丁目二五 電話長三四四 朝鮮公論社左横小路 坂元分析所 189
石版に經驗ある 外交員採用 京城櫻井町 戶部印刷所 182
石版畫工募集 京城櫻井町 戶部印刷所 181
恩給 年金 長期 即時立替 勸業債券(五分利)額面以上特別高價買受 銀行爲替付受放賣之好期不可逸 京城若草町百六番地 電三千十一番 西村商會 154

カオール

偉大なる殺菌力を有する カオール
今が一番恐るべき黴菌の發生期である 衛生口錠
カオール二三粒宛必ず召し上れ どこへ行つても どんな時でも 安全第一
◎ヒスイ色まが玉形 特五錢 ◎自動バネ付鞄形 廿五錢 ◎美術鑵付兆入形 卅八錢 ◎袋入十錢箱入廿錢五十錢一圓
オリヂナル本舖 東京水天宮前 安藤井筒堂
關西代理店大阪 藤森源之助

第卌九回特別帝國議會

▲貴族院（二十五日）

午前十時再開黑田副議長議長席に著き書記官をして各部につき當選せる常任委員の氏名を報告せしめ十時十五分散會せり（東京特電）

▲衆議院（二十五日）全院委員長選擧

衆議院は二十五日午前十時開會大岡議長奉答文捧呈の爲め參内中に就き濱田副議長代りて議長席に就き諸般の報告を終るや小山松壽君（憲政）奉答文議事に關する議長職務執行に就き質問ありとて發言を求め速記者無しにて議事を進むるも速記録には何等故障無く議事の進行せる如く掲載されあるは議長が強に速記を改竄するものなりとて議長の答辯を求むるや伊東知也氏（國民）高見之通氏（政友）の兩代質問者に質問ありとて横槍を入れ結局濱田副議長より此件は目下大岡議長に於て取調中なれば孰れ答辯す可しと陳べて日程に入り全院委員長の選擧に移りたるが其結果は

總投票數三百八票
肥田景之　二百六票
柵瀬軍之佐　七十八票
大竹貫一　二票

にて肥田景之氏（維新）當選次で常任委員の選擧に移り十一時五分休憩せり（東京特電）

▽常任委員報告　衆議院は午前十一時五十五分再開常任委員選擧の結果に就き報告あり濱田副議長は常任委員は散會後開會委員長理事を互選せられたしと陳べ政府提案の報告ありて散會せり（東京特電）

▽豫算委員會

衆議院豫算委員會は二十五日午後零時半豫算委員室に開會戸狩權之助氏座長席に就き三土忠造氏の發議にて政友會の山本悌二郎氏副委員長に當選せり理事五名は指名する事とし直ちに散會せり（東京特電）

▲奉答文捧呈

貴族院議長徳川家達公、衆議院議長大岡育造氏は二十五日午前九時五十分參內鳳凰の間にて謁見仰せ付られ徳川議長先づ御前に進み開院式勅語に對する奉答文を捧呈したるに陛下は左の勅語を給ふ

朕貴族院ノ深厚ナル敬禮ヲ嘉ス

畢りて大岡衆議院議長又恭しく奉答文を捧呈したるに陛下は左の勅語を給ふ

朕衆議院ノ深厚ナル敬禮ヲ嘉ス

右終りて兩院議長は御前を退出直ちに議院に入り夫々其次第を報告したり（東京特電）

▲豫算提出

政府は二十五日衆議院に對し左記豫算追加案を提出せり

一、大正六年度歳入歳出總豫算追加案
一、大正六年度特別會計歳入歳出豫算追加案
一、豫算外國庫の負擔となる可き契約を爲すを要する件
（イ）臨時軍事費豫算追加案
（ロ）豫算外國庫の負擔となる可き契約を爲すを要する件

□豐明殿の饗饌

宮中の地久節御祝賀

二十五日皇后陛下第三十三回地久節の佳辰に就き陛下には午前十時桐の間に出御各宮同妃殿下宮中府中各大官同夫人の祝賀を受けさせられ正午豐明殿にて右の諸官に對し酒饌を給はりたり午後皇太子並に各皇子殿下御參內祝詞を陳べさせられ午後五時より御內儀にて女官に對し酒饌を下賜せられたり

▲決算案提出

政府は二十五日左の決算案を衆議院に提出せり（東京特電）

一、大正三年度歳出入總決算
一、同年各特別會計歳入出決算
一、同歳入出決算檢查報告

▲質問通告者

二十六日衆議院に於ける首相、外相の演説に對する質問演説通告者左の如し（東京特電）

憲政會　島田三郎、武富時敏、尾崎行雄、早速整爾、齋藤隆夫、關和知
純無所屬　押川方義

▲憲政會質問書

憲政會は言論壓迫に對する質問書、鄭家屯事件に關する質問書を衆議院に提出せり（東京特電）

▲政友政務調查役員

政友會にては二十五日政務調查役員を發表せるが會長は小久保喜七氏副會長は阿部德三郎氏なり（東京特電）

▲赤尾氏陳謝

二十三日衆議院內にて憲政會所屬代議士横山金太郎氏を殴打したる政友會所屬代議士赤尾彥作氏は二十五日午前十一時半代議士岡田米藏氏同伴憲政會院內幹部室を訪問陳謝の意を表したり（東京特電）

◎王世子御歸京

李王世子殿下は二十五日京都より歸京せられたり（東京特電）

◎磯部少佐歸朝說

佛國にて負傷せし磯部飛行少佐は近く歸朝す可しとの報あり（大阪特電）

◉載寧平野旱魃

黄海道の載寧平野の旱害を視察歸京せる某有力者の談を聞くに同方面は最近一兩回の微雨ありしのみにて五月以來雨を見ず水田と畑とを問はず地表より三寸以上乾白し居れり故に之れに灌漑して稻の植附を可能ならしめんとするには頗る多量の降雨を要する譯にて大雨三四日に亙らざれば到底十分と云ふを得ざる可し而して苗代の實狀を概觀すれば農民が甚だ熱心に灌水に努力し居れるため未だ全く枯死せるものは必らずしも多からざるに似たれど若し六月中に雨なくば由々しき大事を惹起すべく各地小作人の降雨を祈る聲は凄まじきものあり云々

◉仁川選擧結果

仁川商業會議所議員選擧は二十五日午前九時より同會議所に於て舉行投票總數內地人側二百九票鮮人側五十一票總計二百六十票にて殆んど無競爭にて午後四時投票を終り三十分休憩の後同四時半より開票同五時半左の結果を發表せり（仁川電話）

內地人側（二十二人）▲二十二票田中佐七郎▲二十票安保富藏▲十九票河野竹之助▲十八票平山佐七郎▲十八票白上專一▲十六票大石季吉▲十五票奧田貞次郎▲十二票美濃谷榮次郎▲十二票大阪商船株式會社仁川支店▲十一票稻田勝彥▲十票藤木利右衞門▲九票淺松太郎▲七票坂倉伊平▲七票仁川米豆取引所▲五票川添三次▲五票北島岱三▲四票加來榮太郎▲二票十八銀行仁川支店▲一票高杉昇▲一票京城瓦斯電氣株式會社仁川支店▲一票吉金喜三郎▲一票南方竹次郎

鮮人側（七人）▲十票鄭順澤▲九票孫基七▲九票、沈能德▲七票林丁致國▲四票具昌祖▲三票常潤▲一票崔應三

◎連帶手小荷物運賃改正

來る七月一日より鐵道院に於て手小荷物運賃並に貴重品及び小動物の增賃金中一部左記の通改正實施に付連帶手小荷物に對しては同日以後鐵道院鐵道局線間を通じて改正賃率に依り取扱ふことゝなりたり

一、手小荷物改正賃率に對する最低運賃は七錢とす、此の最低運賃は官用荷物等に對しても一切割引を爲さず
二、自動自轉車、人力車（一人乘）人力車自轉車（一人乘）小兒車商品運搬車（空）の運賃は斤量に依らず一輛毎に左の割合に依る
自動自轉車人力車一哩に付三錢最低運賃六十錢▲商品運搬車一哩に付二錢最低運賃四十錢▲自轉車小兒車一哩に付一錢五厘最低運賃三十錢自動自轉車及自轉車にて二人以上の席を有するものは座席一人を增す毎に前項運賃の五割を加算す但し馬車及自動車は小荷物扱と爲さず
三、貴重品の運送に對する增賃金
價格百圓に付百哩未滿又同じ五錢▲五十哩以上百哩未滿同上八錢▲百哩以上二百哩未滿同上十二錢▲二百哩以上二百哩未滿を增す毎に三錢
四、鮮鐵の運送に對する增賃金
▲五十哩未滿賃制限金額超過價格金十圓に付五錢▲五十哩以上百哩未滿同上十二錢▲二百哩以上二百哩未滿を增す毎に三錢

◉李氏就任事情

李內閣に對する反對の聲は張勳王士珍氏等の通電勸說に由りて大に緩和されし唯だ徐段直系の北洋派及び研究會、討論會は猶同意を表せざるのみならず新內閣には一名の會員だに參加せしめずと聲明し又督軍中にありては山東の張懷芝氏最も激烈に反對し初め反對したる張作霖氏は張勳氏の竈論に由りて之を相對的の反對に改め曹直隸督軍の如きは今猶沈默を改めざるも大勢に於て李內閣に心醉して李內閣反對の意見を閣下漢の至る可きを暗示して李內閣の障礙は頗る削除され特に馮副統が遂成の急務なる事を勸說したる通電は大に各督軍の心を動かし李內閣組織に大勢援を與へたれば李氏も初めて登臺の心を生じ茲に就任を承諾するに至りしものなりと（北京）

◎北支航路開期

全羅丸黃海丸等は船舶相踵ぎしため朝鮮郵船會社の自由航路仁川、青島、大連線は船繰の都合上其の就航船を引き揚げ四月以來休航しつゝあるより朝鮮對大連青島の交易上當業者は頗る不便と不利を感じつゝある所一方朝鮮郵より川崎造船所に注文せる平安丸（二千五百噸）は來月廿日頃までに廻航し來り過般會社にて傭船せし柳川丸も北鮮門司航路に就航しつゝあるに付江原丸は北支那航路へ復航差支へなきに至れるも同船は修理を要するに付目下長崎に入渠しつゝあり旁々其の出渠を待つて開航すべく多分七月下旬若くば八月上旬となる模樣なり

◉張長官の著任

新任忠北道長官張憲植氏は二十三日正午芙江經由同日午後〇時四十分自動車にて著任したり之より先在清州各官廳職員各學校職員生徒在鄉軍人會員赤愛婦人會員一般內鮮人有志者等數百名は定刻より道廳正門前に集合して盛なる出迎をなせり張長官は勳三等瑞寶章以下數個の勳章記章を胸間に輝やかし出迎への人々に對し一々叮嚀に會釋しつゝ道廳直ちに長官室に入り小憩後道職員其他を接見したり（清州）

◉奉省財政整理意見

王奉天財政廳長は今や困難の極に達せる財政整理案として長文の意見書を張省長に提出せるが其大要は左の四項に歸著するものゝ如し（奉天）

（一）各荒地を開放し退兵の屯田及び農民招來を獎勵して極力開墾する事
（二）各官營業を整理して利益あるものは擴張し缺損するものは廢止する事
（三）各鑛を官營に歸せしむる事
（四）各官產を賣却する事

◉本溪湖の新銅鑛

本溪湖東南鄉の青山背に於て銅鑛發見されたるが鑛質甚だ佳良なるを以て廣東商黃寸臣は浙江人丁西生と謀り技師をして調査せしめたる結果愈々有望なるを認め奉天財政廳の許可を得目下開鑛の準備中なり（本溪湖）

◉國澤滿鐵副總裁歸任

滿鐵副總裁國澤新兵衞氏は庶務課長久保要藏氏を隨へ二十五日午後九時四十分南大門驛發列車にて歸任せり

◉秋山司令官動靜

西鮮巡閱中の秋山軍司令官松井參謀野津副官は二十五日新義州守備隊を檢閱し二十六日新義州府鎭南浦に向ふ由

◉田中次長講演會

京城及龍山の在鄉軍人分會は來る二十七日南大門小學校に於て午後正五時より田中參謀次長の講演會を開催する事に定まり在鄉軍人會京城支部より京龍各官衙へ成るべく多數の在鄉軍人を參列せしめられ度き旨夫々依頼せり

◉大日本山林大會

第二十七回大日本山林大會は七月二十日より二十五日まで新潟に於て擧行の事となれり同會は二十、二十一の兩日會議の外は何れも實地視察として附近の山野を涉獵の豫定なり、總督府よりは藤岡山林技手出席の筈なるが朝鮮に對しては會員と否とに拘らず山林關係者は成る可く多數の出席を望む趣にて地方有志中出席希望の者は總督府山林課に申出次第招待狀及び鐵道院二割引券を交付す可しと

◉李總理愈々出務す

李經羲氏は二十三日午後二時國務院に赴き事務引繼を受けたる上五時退出せるが二十五日より正式に出務す（北京特電）

◉墺國軍需工場爆發

墺國國防大臣は墺國下院に於て陳べて曰くブロウイツの軍需品工場に爆發起り死傷者千餘名に達せりと（倫敦電報）

◉勞兵戰爭繼續決議

露國勞働者兵士代表者會議は愈々全力を盡し處期の目的を貫徹する迄聯合國と步調を一にし戰爭を繼續するの決議を爲せり（露都電報）

◉晉州間自動車開始

馬山、晉州間自動車は去る廿日東鄉中將其他を乘せて運轉中郡北に於て轉覆破損したる爲め休止中なりしが廿三日より從前の通り開通したりと（釜山）

◉新聞雜誌運賃引下

鐵道院線朝鮮鐵道局線連帶旅客荷物運送取扱手續中左の通り改正し來る七月一日より實施の筈

▲新聞紙及雜誌の運賃は哩程に拘はらず一斤に付金一錢最低運賃金五錢とす、因に現在は一斤に付一錢五厘なり、尚之と同時に南滿鐵道會社線（安東驛を除く）と鐵道院線との間に發著するものは一斤に付一錢五厘安東驛と鐵道院線との間に發著するものは一斤に付一錢に改正す

◉蠶室里桑園

從來蠶室里の桑園面積三十六町步餘は官有地として總督府農商工部の所管に屬し居りしが先般之を京畿道の所管に移し從前通り內地人蠶種製造家十五人に貸與し蠶室及び桑園の耕作經營をなさしむる筈なりと

◉中學設置請願

過般大邱府公會の席上決議したる中學校設置の件に關する請願書は其際選出されたる起草委員に依り作成中のところ既に之れを脫稿せしめ主なる府民の調印を了したるを以て愈々二十三日同會は大邱府を經由し右請願書提出の手續をなしたり（大邱）

◉賴慶館竣工祝賀

慶北大邱に於て建設中なりし御大典記念賴慶館は其の後工事全部落成せるより七月一日午前十時より其の竣工祝賀會開催總督府よりは多分宇佐美長官臨席す可し

◉鳥取縣視察團招待

在京鳥取縣人會にては滯京中なる同縣鮮滿視察團一行を二十四日午後八時より清華亭に招待して歡迎宴を開催せり縣人會幹事長堀尾氏の挨拶、財部同縣內務部長の答辭あり主客五十餘名の來會者あり五分間談話等ありて午後十一時過ぎ散會せり

◉農業學校廢止

京畿道管內始興郡所在果川公立簡易農業學校は來る六月三十日限り廢止せらるゝ筈なり

人事消息

▲天野喜之助氏（釜山府尹）二十五日夜入京[illegible]尾へ
▲八木辰馬氏（平壤郵便局長）同上山本へ
▲木下方三氏（慶南米穀檢查所主事）同夜退京
▲齋藤一郎氏（兒島鑄具株式會社理事）同上

■南言北語■

議會開會劈頭衆議院では敗ッ腹を立て相手の頭を擲るなど蠻的な新議員があつたが▲此の特別議會は何となく活氣がある樣で大分面白い處も見られるらしい氣がせぬでもない▲新議員は兎に角新議員の連中がお初の腕試だからしつかりした處を拜見したいもんだ▲議員の年齡を調べて見ると最年長者は藏內治炭老の七十年六箇月で之に次ぐが齋藤壽雄君の七十年五箇月▲天春文備君が六十九年八箇月で河野盤州翁が六十八年▲最年少者は卅一年一箇月の松田三德君次が一宮房次郎君の三十二年十一箇月と瀧正雄君の三十三年三箇月である▲序に二三名士の年齡を御披露せんに島田副議長が六十四才▲野田、箕浦、岡崎の諸君が六十三才▲大饗君が六十二歲で武富、原、大岡の諸君が六十一歲元田君が五十九歲▲片岡、井上、川原、尾崎の諸君が五十七歲である▲これで見ると黨界に老閥打破の氣運が起るのも無理はないテ▲新副議長の濱田國松君は他の名士程餘り世間に名は知られて居らぬがしつかりした男だ▲濱田君は若い時分には三重縣鳥羽町で小學校の訓導をやつて居たが▲何時迄も增給して吳れないので癪に觸つて居た、郡長は此次には必ず增給するからと君の不平を押て置た▲處が期限が來ても何の沙汰がないので或宴會で郡長と出會つた際▲增給問題に付て一言の挨拶もせないのは不都合だと郡長を擲つてオン出て仕舞つた▲其れから黨人となつて政治運動を始め今日の位置を贏ち得た却な元氣な人だ▲支那浪人組が四分五裂して何とか同盟會とか同志會とか出來るのを見て頭山滿翁憤慨して曰く▲『同盟も同志もあるもんか支那が南北へ割れるとキッと日本の浪人も割れる之ぢや宛で支那の出店ぢや』▲相も變らず痛快な事を云て居る

◉暴風警報（六月二十五日午前九時三十分發）

▲警文　風強かるべし▲位置　滿洲南部▲示度　七百四十八粍▲進行方向　東▲記事　降雨あるべし▲警戒區域　咸鏡南北道江原道沿岸

■清津■

▲鮮領鯡輸入狀況　清津港に於ける本年鮮領鯡輸入の狀況は三月下旬初輸入以來五月末日迄[illegible]す前年の[illegible]大額より減[illegible]を見たり而して輸[illegible]は從來之を[illegible]鯡として南[illegible]向けられ[illegible]も本年は南鮮[illegible]落し爲め各銀行は爲替を中止し各商店も亦取引中止の有樣にて市況不振を極めつゝあると云ふが鮮國に接[illegible]二十一萬二千百五十二圓輸出十一萬八千九百七十圓計三十三萬一千百二十二圓又た通過貨物は輸出二十一萬[illegible]

▲農作狀況　北道一般農作物發育狀況を[illegible]本年は例年に比し氣候低温を加へて雨量少かりし[illegible]り今後降雨ありとするも到底挽回する事困難なるべく濃霧期に入りては一層害蟲の發生增加するに至るべけ[illegible]作不況を顧慮する[illegible]より本月十六日防穀令を發布[illegible]既に買付品に對しては六月十五日[illegible]其搬出を猶豫し其以[illegible]

婦女界特別號　一家經濟號

婦人に關する時事問題評論……編輯主幹
主婦の腕を要する特に手家計……主幹
經濟を計るも亦修養なり……棚橋絢子
何が物價騰貴の原因か……添田壽一
家運を開く家政の執り方……佐治實然
三ヶ年に純益金千圓を得たる均一店……美枝子

經濟附錄

■物價騰貴に苦しんだ經驗
▲物價騰貴で試驗された我家の家政……靜香
▲木炭の騰貴で養鷄に困難した經驗……らく子
▲大病後に苦しんだ植民地の物價騰貴……幸子
▲切詰めた生活に受けた大打擊……ぶ子
▲物價騰貴に驚かぬ安全第一の生活法……ちゞ

■安價生活の模範的實例
▲種々に研究し實驗した安價生活法……てよ子
▲月收の六割貯金の出來る安價生活法……百合香
▲月收十一圓で出來る安價生活法……ふみ子

■夜具に就ての色々の經驗
▲抱寢に重寶な新案の蒲團……浩花
▲蒲團皮と綿に就て研究した經驗……新子
▲最も經濟的に工夫した蒲團皮……かめ子
▲寒地にかける夜具の工夫……みどり
▲夜具の改良と凝蓄を用ひる利益……二葉女

主婦の讀物
△樂に働ける臺所の設備……井村延子
△近頃流行の紹刺の秘訣……津田敏子
△夏の髮には此の手入が必要……北原吉男
△夏向の髮形と附屬品……岡田
△雅致ある色々の挿花……佐藤あき
△衣類整理の質問とお答……森山
△野菜料理のいろ／＼……龜井まき子
△道具なしで出來るアイスクリム……つゆ子
△道樂の多い三段百姓の家計……
△文檢志望の小學教員の家計……登世子

家庭小說　世間

本日出來
本號特價廿錢〔郵二錢〕
▲半年分一圓十三錢
▲一年分二圓十五錢
東京牛込加賀町一　婦女界社　振替二〇二八三

◎一筆申し上げ候

青嵐すだれ吹きまく眞夏とも相成り候こころ益々御清福芽出度く存じ〳〵。さて「千代本」こと豫て旭町一丁目に新築中の建物このたびやう〳〵落成の上此の廿四日より移轉開業仕り候。これも御客樣方平素の御力添へと幾重にも御禮申し上げ〳〵。

新築の家は客間の趣向、お膳の趣味、すべてお客樣方の思し召に從ひ候上、板場の腕も御褒めに預かるやう準備〳〵。あたりの風致は御存じの南山、月の夜半、松風のおこづれ何れも歌にふさはしく候。されば此の上とも幾久しふ御贔負の程念じ上げ〳〵。

青嵐南山の麓は旭町一丁目にて
千代本
鹽澤千代　敬白
電話一一三五番　一一七七九番

地久節を祝ぎ奉る可く

□■□愛國婦人會＝天一大奇術の餘興■□■□

廿五日は　皇后陛下第三十四回の御誕辰とて何處も同じ國を擧りてのお祝ひを催ほされたり、わけて京城愛國婦人會朝鮮本部にては午後一時廿分より黄金館にて奉祝會開催

●一同衷心より今日のよき日を祝ほぎ奉りたるが館内立錐の餘地だになき盛會なりき、會は六橋赤愛會主幹の挨拶に始まり次いで餘興として松旭齋天一一座の

●面白き大奇術を催ほされたるが中にも手品種明し、チヤプリンの滑稽等何れもさり／＼の賑ひにて殊に支那人の藝藝をはじめ天一の大奇術、露國少女の舞踏等

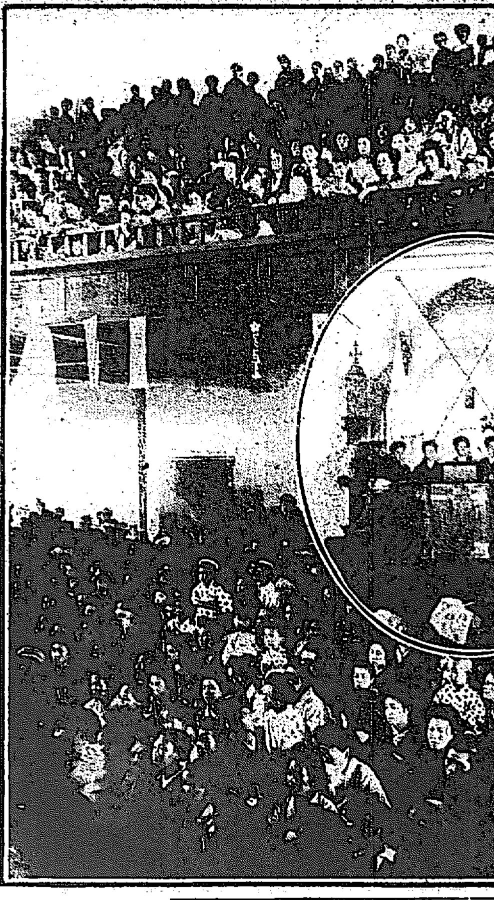
●何れも非常な興味を惹きたり、猶ほ此の日の來賓は何れも夫人、令孃、お女中等たまく／＼にかゝる樂しき半日を過したることとて一同非常なる滿足なりき、かくて

●會は午後三時四十分といふに芽出度く大團圓となりたるが何れも心より芽出度き佳節を祝しあひたり、因に當日黄金館は館主西田嘉藏氏の無料開放と天一一座の

●奉祝興行こにて一般婦人の會員に充分の滿足を與へたるが猶ほこれに關し大橋主幹はじめ會員山田德廣氏等の熱心なる盡力により多大の成功を收めたり

▲教會の奉祝

長谷川町日本組合基督教會に於ては二十五日午後二時より內鮮人婦人クリスチャン集合し地久節祈禱會を開き皇后陛下の萬歳を祈禱し午後三時より數番の餘興ありたり當日の司會者は石塚夫人にて鈴木夫人の聖書朗讀、國分夫人の祈禱渡邊夫人橋本夫人の祝詞和田夫人の祈禱あり朝鮮人夫人の演説等ありたり



◇地久節のお慶び◇

◇黄金館は廿五日のお午すぎから美しい澤山のお客様、お年寄も奥様も坊ちやんも、お姫様もヒシ／＼と御入來、ふだんは斯樣なところには足踏みさへしたことのない、奥様や令孃までが階上に階下に陣取つてチヤプリンのおどけ話につゝましくオホヽヽ！それに興趣しかよくて落ちはどこにもなかつたが白い扇子は蝶々のやうにハタ／＼動く、露西亞の少さい女優は四人とも白い水兵服のやうな着物で活潑に往まはる坊ちやんたちは面白さうにひろつた、それに天一のカアドが燕のやうに飛んで來つた、お女中さんにも奥様にもたのしい／＼一日で敎會のお集りこれも熱心に佳節を來祝したあつた——寫眞の右は長谷川町日本基督敎會

關門賑ふ

李王殿下御一泊　當夜軍艦の電飾

李王殿下御歸還の途にあらせらるゝ李王殿下には二十六日午後下關御著春帆樓に御一泊遊ばさるゝに就き港內警備の爲め軍艦富士は二十五日朝入港、御召艦肥前、供奉艦朝霧、村雨も亦二十六日朝迄に入港すべし而して殿下御宿泊の當夜は盛に電飾、探照燈を點ずる筈なり山縣政務總監は殿下出迎の爲め二十四日夜下關著山陽ホテルに投宿せり猶軍艦富士は此の機會に二十八日迄同地に碇泊して學校生徒並に一般市民に艦內の巡覽を許可する事となりたれば二十五日より拜觀者甚だ多きが之亦殿下御東上の賜なりとて一般に感謝し居れり（門司特電）

當分夜間斷水の虞無し

水を節約せよ

過般來旱天と使用水量激增の爲め一時夜間斷水の已む無きに至りし京城水道は其後天候の關係及び府民一般使用水量の節減に由り暫らく夜間の斷水を解除して給水するを得るに至り居りしが二十四日の炎熱に由り府民の使用水量

▲俄かに増加し　四十五萬立方尺の給水能力に對し四十七萬立方尺餘の使用水量を算するに至り配水池の水位著るしく減退して再び夜間斷水の已む無き虞れありしが幸ひ二十四日夜來の降雨あり以つて二十五日の使用水量も大いに減退從つて配水池の水位を恢復するを得べく卽ち引續き當分夜間の斷水を全く解除して無事給水するを得べき見込なりと然れども元來京城水道水の斷給は一に府民の使用水量

▲増減の如何に　懸れるものにして給水最大能力四十五萬立方尺以上の使用繼續さるゝに於ては雨量の如何に拘はらず斷水の外策無き給水設備の現狀に在り卽ち京城水道目下の狀態に在りては夏期に於ける一般市民水道の濫用は勿論相當の節減を要するは言を俟たざる所なりと當局者は語れり

道樂のない敷島

七年振りで京城へ　堂々と出世の乘込

回敷島は今から七年程幕下時代に京城に來た以來一度も來ずに今度が始めてなので、釜山に著くと急に京城を懷しがり京城から態々出掛けて行つた記者と行司の玉治郎と三人鼎座でいろ／＼話したとき二人はその頃ゐた古い人の話をしたりその人たちのこの頃の動靜を聽いたりした。回殊にその當時、花月に泊つてゐたことかで今店を出してゐる辰巳のお辰さんだの、富美廼家の女將だのそのほかの婆族に關する連中もよく知つてゐて今度久し振りに若さんと會ふのが何よりの樂しみだと、今度は立派な蒜の內花形力士となつて京城に來るのが何より悅しいやうだつた。回敷島は友綱部屋で今黑瀨、土州、紅葉川など共に重きを爲してゐる一人である、相撲振りも堂々たるもので此の夏場所の初日の大錦を攻めて攻めて、攻めて攻め拔き遂に力盡きて敗れたけれども厭々危地に陷れたのは素晴しいものだつた。回比較的放縱な力士社會には稀らしい謹直な男で酒も餘り多くは飲まず唯神樣を信心する位の外は之といつて道樂もなく暇さへあれば贔負先きへ手紙でも書かうといふ頗る罪のない男である

巫女三十七名を檢擧す

京城鍾路警察署管內にては近來巫女及び賣卜者の跳梁甚しきより是れが弊害を一掃せんと本月二十二、三の兩日に亙り大檢擧を行ひたる結果現行犯人三十七名を引致し內二十九名に科料に即決し五名は說諭放還三名は取調べ中なり二十三日は恰かも陰曆五月五日の節句に相當し朝鮮在來の習慣上祈禱をなす家多く之れを附け目として巫女等が竊かに祈禱して金品を詐取するものなるが或る前科者らしき家にて巫女が熱心に祈禱中を踏み込みて引つ捕へたるもあり最近或る一派の敎派が維持困難の爲め資金を徵達せんと目論見巧みに巫女等を使嗾して百滿の日を偸み前記の如く祈禱を行はしめたるもの、如く鍾路警察署にては今後も引續き嚴重檢擧すべしと

揮發油貨車の爆發

信越線の椿事＝列車一時不通

二十四日午後信越線御代田沓掛驛（井澤より二里半）兩驛間に於て列車進行中連結せる揮發油貨車が突然大音響と共に爆發し火は更に重油貨車に移り流出せる石油に燃え擴がり宛然火の海と化し列車一時不通となれり（大阪特電）

親子四人相擁して入水自殺

生活難から浮世を果無みて

大阪上本町八丁目高右左うめ（三三）は夫に先立たれしより砲兵工廠に女工を勤めきみ（一二）鐵太郎（五）りく（二）の三兒と共に細き煙を立て居たるも生活難の爲め世を果無み親子四人大阪城の濠に投身せり廿四日午後屍體浮上りたるが母親の兩手に鐵太郎とりくが確りとつかまり居たるは見る者皆涙を催せり（大阪特電）

大持ての造船職工

阪神地方にては造船職工拂底の爲め各造船所にて職工迄が遂に鞍替へする者ある有樣なりと（大阪特電）

能樂界の耆宿

櫻間氏逝去す

能樂界の耆宿櫻間金太郎氏は廿四日午後十時尿毒症にて逝去せり（東京特電）

全北の大火

五十餘戶を全燒

十八日午前九時頃全北全州郡雲仙面外時里農權泰哲方より發火し折柄の烈風に煽られて四方に燃燒し如何んとも消防の術無く同地は水利不便の上消防器具の備へ無かりし爲め遂に五十五戶を燒き盡して午後一時頃鎭火原因は火元なる權泰哲が其日農作に出掛くる際溫突の焚口に火を焚き付け其儘家人全部出掛けたる留守中火は床下の柴に燃え移りだん／＼とこれ

お伽話大會

市內六小學校の學生諸子の爲に本社は今回滿鮮視察中のお伽話大家大井冷光先生に願つて今日左の場所で面白いお伽話大會を致します

第一會場　南大門小學校　六月廿六日午後二時より始まります

第二會場　日の出小學校　午後四時より始まります

主催　京城日報社

大事になりたるもの、如く是れが爲め類燒者は殆食に窮し其筋にては取敢へず燒燬りの家屋は罹災民を救護する事とし目下取急ぎ善後策を講じ居れりと

●群山初日勝負

群山に於ける東京大相撲初日（二十五日）勝負左の如し（群山特電）

若嵐より龍ヶ崎　太刀光、鏡筑後川

友の山、四國洋　中入後

遠州洋、友渡　矢竹山、曾根松

太刀嵐より小嵐　若島、國見崎

紅葉川、荒湖川　敷島、荒王

伊勢濱、黑瀨川　太刀山、土州山

●猩紅熱

京城大和町一丁目十九百崎とよ（一七）は二十四日猩紅熱と診斷卽日順化院に入院せり

●小火

京城黄金町二丁目吳服商西堀定四郎方二階にて廿三日午後十一時五十分頃洋燈に石油を入れんとして轉倒したるを卽時家人が消止む

●煙草八千六百袋

京城觀農洞居住劉貴得（三三）は東亞煙草會社の職工に雇はれ中昨年九月より本年六月初め迄に前後三十三回に珊瑚票卷煙草八千六百個を竊取したるを發覺して鍾路署に檢擧さる

●千代本移轉披露

二十四日南山町より旭町一丁目の新築家屋に移轉したる千代本にては移轉披露旁々自祝の意味にて二十六日午後六時より各顧客先の人々を招待する由

えんげい

回誘惑

大正館にては二十五日より全部新寫眞と差替へたるがその主なるものは大社所屬の誘惑にして今回特に増加しで取寄せたるものにして全七卷に亙り頗る波瀾に富み居れる由その他の寫眞は左の如し▲南宮獨逸の油▲新劇浪花俠客讀が御曹吉全三卷▲滑稽活劇デブ君の奮鬪全二卷▲家庭悲劇誘惑七卷

回痴遊來らん

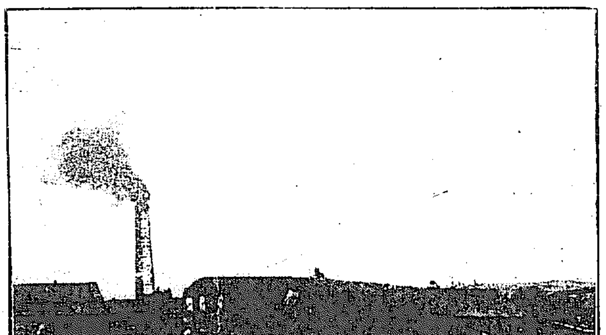
新講談界の偉才にして東京市會議員の肩書を有する痴遊伊藤仁太郎は今回浪花館の招聘に應じ來鮮來月一日頃より開演すべく同人は四年前來京せし事あり當時より一層進步離れし來りたる由なれば一般に時局る好評を博したる由なるが今日に於ては殊に中流階級以上に歡迎せらるしなるべし

回黄金館

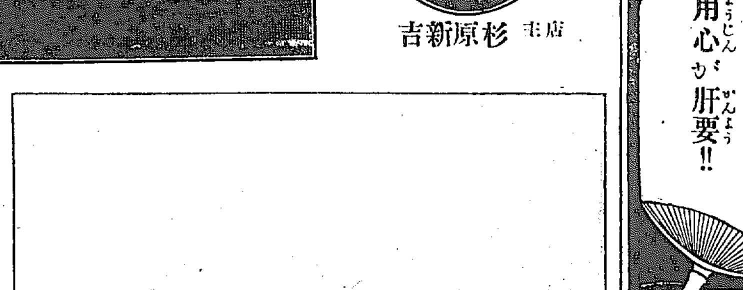
松旭齋天一一行の奇術にて連日盛況を續け居れり

回有樂館

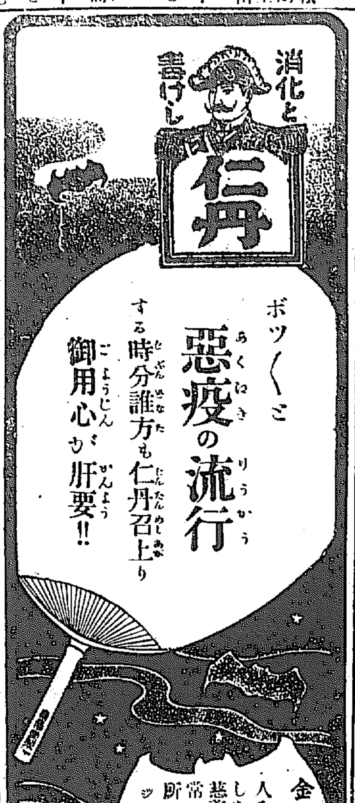
紫の覆面、無言の價値にて之れも連日好評を博しつゝあり



店主　杉原新吉



各種木材
煉瓦製造
朝鮮大邱府元町二丁目
杉原材木店
長電一一六番
振替京城九二二番



特約店　京城府太平通二丁目三〇五　キムラ藥房

体力精力増進

人參を服用する人はホシ人參丸を選べ

ホシ人參丸は人參の研究を以て名ある三宅博士が朝鮮人參の本場なる開城産中の最良品を選擇し是を科學的に精製したるものなり

帝國大學、農科大學、理學博士　三宅驥一先生勸奬

ホシ人參丸

主効　神經衰弱、ヒステリー、貧血、肺病、老衰、リウマチス、子宮血の道、胃病、神經痛、肋膜、精力不足、男病

定價　廿錢　五十錢　一圓　二圓

東京京橋南傳馬町三丁目　星製藥株式會社　電話京橋一七八五、振替東京二〇五三

各地藥店及特約店にあり

の輸入額は七萬一千二百二十五圓にして本年は露領沿岸鰊漁の不漁なりし結果清津港よりの買出船は前年より顯著なるに拘らず入著捗々しからず▲間島地方へ仕向けられたる大部分は…方面に於ける露貨は二十日頃二百三十五留まで暴落し…方面には少からざる影響を及ぼせるものゝ如し▲本年半期會寧貿易　本年一月より五月に至る會寧貿易は輸入百九十二圓計三十一萬一千二百四十八圓にして之を六年同期に比するに何れも著しき增額を示せり▲咸北一方によりては…年の半作に近き者あり…の爲め…死す…麥作の如きは地…生育不良にして虫害…蔓延せざる…那官憲は近來粟の朝鮮內に搬出さるゝもの夥だしきと吉林方面の本年農作報わるが目下…穀の昂騰と南滿票の輸出不活潑に…鮮內地に於ける間島粟の需要を勃興せしめ其數量夥だしき…城津…會寧…雄基の七校に於ける兒童數は男四百六十八名女四百二十三名計八百九十一名にして本道在鮮內地人口の約九分に當れり▲吉會線速…と相呼應して起ち運動する事となり日高丙子郞氏を代表として東七消委員と共同運動せしめつゝありと

花筐(はながたみ) (三七)

松田竹の島人作

お豐が實家へ歸らずに、田淵方へ來たのは、豫て田淵から頼まれてゐたことがあつたから、それを恩に著せた爲めであつた。田淵がお豐に頼んだのは甚麼ことであつたか?。

田淵は、書生時代から憧憬れてゐた京子を、什麼とも爲して吾が手に入れやうとの考慮から、先づ誠信と京子の中を割かう、然うするには京子が誠信を疎ずるやうにせねばならぬと思つた末、市野方へ屢々往く中に、お豐が人擇れが爲てゐて、事の善惡に拘らず利に就くといふ心を見て取つて、これに度々金を遣つては歡心を買め、そして誠信のことを何にやかやと京子へ告させた。

丁度其頃誠信は、會社の要で頗る多忙を極めた。だから毎晩のやうに遲く歸つたが、會社の社長であつてみれば、社交上又は會社の要向で待合や料理屋で、藝者の酌で酒を飲むことはあり勝ちであつた。田淵は、これを幸ひとして、誠信は築地の或る待合に入り浸りで、酒色に耽溺してゐるのだと、常にお豐をして京子へ焚き付けさせた。

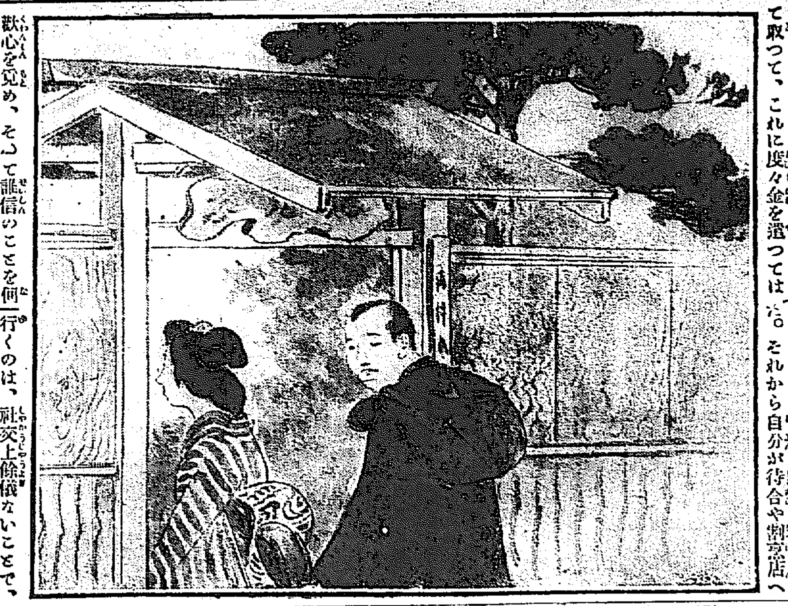
京子は、最初の內こそ本氣にも爲なかつたが、氣に入りのお豐が頻りと夫の不品行を告ぐるに至つては、萬更信じないでもないやうに爲つた。京子は、婦人の通有性の嫉妬心が強烈で、從つて猜疑の念が深かつた。それに父石島泰民の謹嚴な、寧ろ堅過ぎた教育には、どちらかと言へば偏屈な婦人が出來上つて、待合や割烹店は、罪惡の發生處で、そして藝者は、唾棄すべき醜業を營むものとばかし信じてゐた。

これに反し、誠信は社會に立つて會社事業を經營してゐたから、頗る捌けた方で、藝者に限らず、娼妓に爲ろ、其心までが墮落してゐなければ可い、人間は其身分よりか心一つである。だから賤しい勸めを爲る婦女子でも、心さへ清ければ、所謂泥中の蓮として愛すべきものだと言つてゐた。それから自分が待合や割烹店へ行くのは、社交上餘儀ないことで、其間に仕事が出來るのだとも言つてゐた。だから何にか花柳界の噂でも出ると、夫婦の意見は衝突せずには居なかつた。這麼風であつたから、誠信は、京子をは什麼しても同化することが能きないと思つたから、後には何事も斷さずに、俗にいふ腫物に障るやうな塩梅で、そつと其儘にして置くことに爲た。けれども實あり誠もある誠信だから、恩師石島泰民の愛女として、決して京子を捨てるやうな心は毛頭なかつた。

京子が、お豐の告口を信ずるやうに爲ると、それ迄は左程でもなかつたが、月末に待合や料理屋から、勘定を取りに來ると、お豐のいふことが愈々深く信じられて、夫は耽溺の人とばかし思つた。それからは兎角氣分が勝れないと言つて、鬱結ぎ込んでばかりゐたから、誠信は鎌倉山の內の別莊を買ひ、京子を轉地させたのであつた。

京子は、最初からお豐を氣に入つてゐたところへ、田淵の操りに由つて、お豐が忠義振りに、誠信の耽溺のことを告げるので、一層氣に入りと爲つて、別莊へも連れて往つたのであつた。誠信は兎角留守勝であつたから、お豐が京子へ自分のことを彼是告げ口してゐるとは知らず、單にお豐は口の多い女位に思つてゐたばかりであつたから、京子へ付けて鎌倉へ遣つたのであつた。

田淵は、お豐に對して、恁うした弱味があつたから、其乞ひを入れて自宅に置いて遣らねばならなかつた。



院長 醫學士 森定吉
內科 小兒科
京城本町三丁目 瓦斯會社向側 芙蓉醫院 電話二六二三番

百餘圓を煙に

藏相の葉卷喫煙會

逆先頃の事、聖上陛下が勝田藏相に『日本によい葉卷は出來ぬか』と云ふお言葉があつたので藏相早速專賣局に命じて試製させたのは一本の價格が四圓五十錢と云ふ無類の上物であつたが所が獻上した殘りが數十本もあつたので煙草にかけて目の無い藏相は同じ煙草好きの專賣局長宗納德三郎氏、本多法學博士を招待して葉卷喫煙會といふのを催した◇三人とも揃つての喫煙家大に喫む程に吸ふほどに見る〳〵內に二十幾本を平げたが後で考へて見ると總額百餘圓に上つて居るので三人とも顏を見合せて『オヤ〳〵』と驚いた

□山城吟社句詠 花仙亭に於ける五月二十一日夜

炎上の牡丹に迫る氣勢哉 友泮
製陶紙の滲みや栗の花 同
在らぬ人を親と頼むや栗の花 來刀
傳言を牡丹の宿に托しけり 同
蛙聴いとあかしやの門鎖しけり 同
六月の曉かゝる火星哉 さた女
六月や灸に慣れて眠る母 同
郵便を出し從る妓の日傘哉 不醉
水無月や井の底たゝく撥釣瓶 一佛
水無月や下り立鷺の動かざる 神岳
嫁ぐべく調度數ある牡丹哉 孤秋
アカシヤや何鳥が來て鷸の飛ぶ 寄石
水無月やサフランの花狂ひ咲く 死香

□旅行のつれ〲 其の六 袈朗

寄港せぬ船沖を過ぐ雲の峰
なつかしき移民の兒等や夏帽子
汗かくや驚き眠覺む何の夢 廣州
葉櫻に古都なつかしき別れ哉
人百態一齊に使う扇かな 汽車中

新刊紹介

▲青年文壇(七月號) 栗舟、鏡花、花外、小波、狂雨、牧水等の感想、小說、小品、詩歌及現代作家なはぐくんだ土地の現代八文士の故鄉、瀧面劍俠の生活の斷片が小說か、花袋の新小說作法特如例論文、散文、叙情文、長詩短文、和歌、俳句、小說の各部門亦振し(十五錢東京牛込神樂町一の一東亞堂雜誌部)

▲筆之友(二百五號) 口繪には日下部鳴鶴、中根半嶺等の書あり、記事には古書畫の鑑識內藤湖南博士、山內香溪、股野藍田、久保天隨、藝術家の自叙、松林桂月、名匠逸事談海野美盛、藝術家の書齋安月卿、寮草宗設際磯野蛙泉、越後途上貝原益軒、南畫の流行に就て今井爽邦、書と人半井桃水、大鐘雨山、小室翠雲、齋藤芳洲諸氏の外記事豐富、書畫を樂むもの好雜誌なり(廿錢東京市神田淡路町二の六書道奨勵協會)

▲才媛文壇(七月號) 岡田八千代、長谷川時雨、尾島菊子、素木しづ、日向きむ其他現代才媛の試筆に係る小品、小說、感想詩歌を主とし猶水野葉舟の新美文作法を連載せり(十五錢東京牛込神樂町一の一東亞堂雜誌部)

▲日本の關門(六月號) 本邦社會政策の根本問題、心靈之研究、靈魂の正體、容易に百萬圓を儲ける方法、公認大賭博場の表面裏面其他二十餘(十五錢下關王司町瞬報社)

▲隨鷗集(六月號) 土居通豫を中心とし現代各方面の名士及學者を社員とせる作詩研究雜誌にして本號には晩春初夏の詩篇數十を收む(二十五錢東京市外千駄谷五二四其社)

▲黑白(六月號) 帝國憲法と政黨內閣、文藝々術の取締、百聞、諸個問題、澤庵和尚、無効契約の始末其他(十錢東京々橋築地三ノ一五共發行所)

▲子供と科學(六月號) 魚のやうな鳥、寄生蟲、說妖怪談、動植物の採集より標本になる迄其他科學趣味と智識ある記事を收む(十錢東京小石川大原町一共社)

▲靑年と實業(宮田千年著) 曾て著者が栃木縣及二縣に奉職せし際に成せる修身講話を輯めて之を總說、使用人たらんとする靑年諸君の爲めに獨立企業の靑年諸君の爲めに三章數十篇に分ち以て投機を戒め道德的見地の下に着實なる奮闘的成功の要諦を說けり因襲の舊弊は眞正なる個人の行動を基礎とす特に成企圖者諸に一讀を勸む(七十錢東京日本橋本町三博文館)

▲醜人の古道具屋が附込むには全く呆れるの外ない新らしく買つても二三十錢である鍋が四十錢などとは何處を押せば其麼音が出るのだらう(安物買)▲自轉車競走、觀火大會と常に公衆に慰安を與へて下さる貴社の厚意には全たく感謝の外ありません此上スミスの宙返飛行を見せて下されば何時死んでも惜しいとは思ひません(一愛讀者)▲京城は朝鮮中で一番徵税成績が惡いと聞いたが一箇月に二度も三度も引つ越しをする厭措的の人間が多いのだから無理もないよ當局の苦心はお察しする(完納者)▲表通りは左程でもないが一度裏町に行て御覧じろ共用栓の廻りで米を磨ぐ炊事道具を洗ふ時によると汚物をヂヤブ〳〵洗濯するなど殆んど鼻摘みがならぬ(迷惑生)▲芝居で活動でも一等席は非常に靜粛だが三等となると馬鹿に騒々しくて堪つたものではない一等客が三等客に比して恐く公德心が發達してゐるかと云ふと穴勝ち然うばかりでもないらしい人の心理は妙なものだ(自切符)▲京城のローカルカラーは日一日と文化の影に隱れて行く文化の色が濃くなればなる程喜ぶべき現象だが古い建物や城壁などが段々取壞されてゆくのは何んだか惜しいやうな氣がする(自稱懷古家)▲廢兵や孤兒院などの押の強いには閉口します先日も主人が留守だから又買ひませうと斷りましたら愛國心のない人だと惡口を云つて行きました、隨分圖々しう御座いますわねえ(官吏の妻)

商況

大阪株式特電

合同紡績	一六八、八〇
鐘淵紡績	二〇〇、九〇
同新株	一六三、八〇
東洋製糖	一〇八、五〇
大阪商船	一二九、七〇
日本郵船	一三五、九〇

下關期米特電

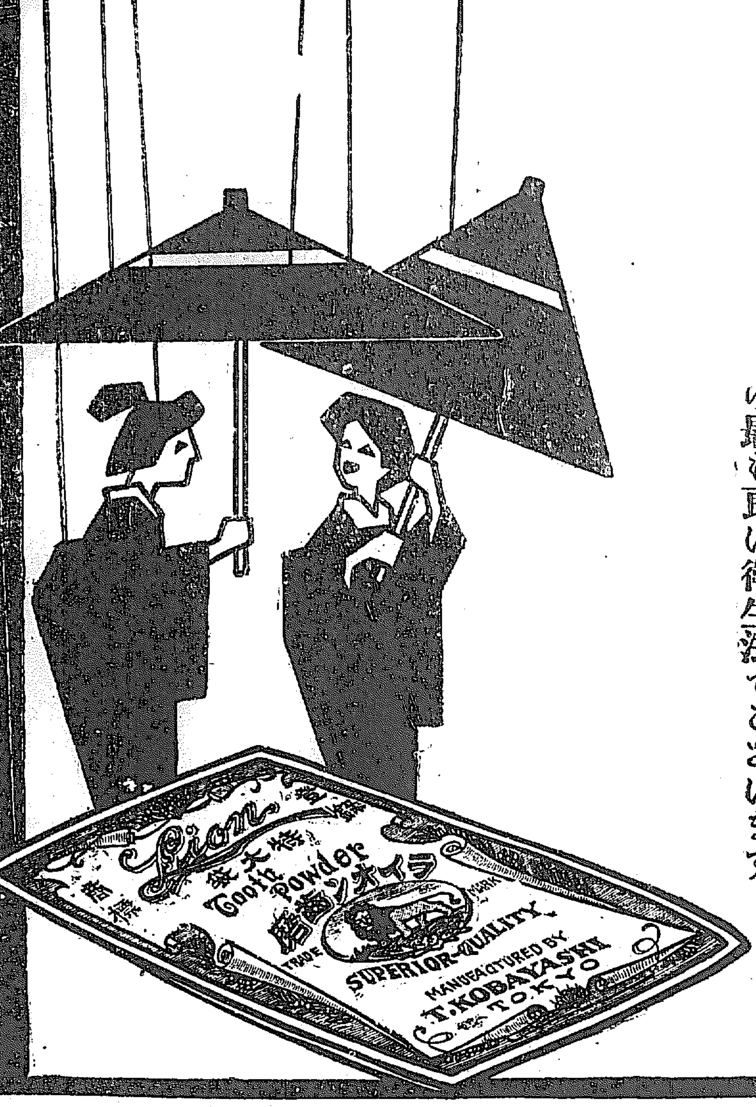
(二十五日後場)(當限 正米高に立直る)

△當限寄附二十一圓八十八錢△中限寄附二十二圓六十九錢△先限寄附二十三圓四十七錢

▲二十五日後場▲兵庫後場二十三圓ドメ東京二十三圓五十三錢大阪前止二十三圓四十四錢後場四十七錢の入端にて當地當中限米下[illegible]

▲忠清米直[illegible]九圓九十錢海州大豆九圓八十錢九十錢等にて出來たり

後場 寄	十九圓五十七錢
止メ	十九圓五十四錢
高値	十九圓六十二錢
安値	十九圓四十九錢
出來高	二萬九千百五十石



ライオン齒磨

梅雨時には

お口の衛生が最も大切!

梅雨時にはいろんな黴菌が其邊中に繁殖致します。そして不潔な口中にも恐しい黴菌が無數に繁殖致しまして、それが人体に故障を起させることになります。

斯樣な譯で御座いますから朝夕は勿論、出來るならば食後食後にもライオン齒磨を使つてお口を清潔に遊ばすが梅雨時の最も良い衛生法でございます。

東京市本所區外手町 ライオン齒磨本舖 小林富次郎 支店 大阪市 名古屋市

(788—9)

來る廿七日午後四時於當地 當行取締役兼支配人故藤本元治郎の追悼法要相營可申候間此段謹告仕候也

大正六年六月廿五日

鎭南浦 株式會社三和銀行 取締役社長 富田儀作 實兄 藤本新太郎

最上醬油

朝鮮仁川府 高杉醬油釀造場

最新刊

書名	著者	定價
會寄教法具便覽	櫻田 雷斧	二、五〇
釋迦牟尼傳	常盤 大定	一、〇〇
米國敎育概觀	山內 佐太郎	一、八〇
法華魂	清水 白風	一、二〇
出家とその弟子	倉田 百三	一、二〇
歐洲政史概觀	廣瀨 哲士	一、〇〇
戰後の獨逸商業	外國時報社編	八〇
六年四月新聞年鑑 第三四卷 第一二卷	公論社	八、〇〇 五、六七
思索と體驗	西田 幾多郎	一、〇〇
長塚節歌集	長塚 節	一、三〇
捨兒	森田 草平	六五
獨步集	國木田 獨步	五五
散文詩	生田 春月	五五
心	夏目 漱石	一、〇〇
道草	同	一、〇〇
絕壁魔城	宮崎 一雨	四五
血戰記	川島 浪一郞	八五
手段の秘訣	服部 準一	八〇
東語指南	文求堂編	八〇

京城本町一丁目 振替京城二五七 大阪屋號書店